科目名	アクセント滑舌(1)	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	岩永哲哉
学科・コース	ダンス＆アクターズ科(昼間部2)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30 (2単位)		
教員の略歴	○新世紀エヴァンゲリオン（相田ケンスケ） ○遊☆戯☆王デュエルモンスターズ（マリク・イシュタール） ○魔法少女まどか☆マギカ(鹿目知久) ○忍たま乱太郎（鬼蜘蛛丸） ○ツバサ・クロニクル（蒼石）○ビーストウォーズ 超生命体トランスフォーマー（エアラザー）□						
授業の学習内容	発声、滑舌、外郎売り、朗読、台詞の訓練。						
到達目標	声優（俳優）の基礎である発声・滑舌を学び、表現力への一歩を踏み出す。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月21日	講義・演習	声優・俳優という職業について。 授業内容について。自己紹介。声優・俳優という職業について。 授業内容について。自己紹介。	授業内容の復習授業内容の復習
2	4月28日	講義・演習	腹式呼吸。自己解放。外郎売り。外郎売りの歴史。	複式呼吸の練習複式呼吸の練習
3	5月12日	講義・演習	腹式呼吸。自己解放。外郎売り	複式呼吸の練習複式呼吸の練習
4	5月19日	講義・演習	腹式呼吸。自己解放。外郎売り	複式呼吸の練習複式呼吸の練習
5	5月26日	講義・演習	腹式呼吸。自己解放。外郎売り	外郎売りを覚える
6	6月2日	講義・演習	複式呼吸。自己解放。外郎売り	外郎売りを覚える
7	6月9日	講義・演習	腹式呼吸。自己解放。外郎売り	外郎売りを覚える
8	6月16日	講義・演習	腹式呼吸。自己解放。外郎売り	外郎売りを覚える
9	6月23日	講義・演習	複式呼吸。自己解放。外郎売り	外郎売りを覚える
10	6月30日	講義・演習	腹式呼吸。自己解放。外郎売り	外郎売りを覚える
11	7月7日	講義・演習	腹式呼吸。自己解放。外郎売り	外郎売りを覚える
12	7月14日	講義・演習	腹式呼吸。自己解放。外郎売り	外郎売りを覚える
13	8月25日	講義・演習	外郎売りテスト。クラス内で外郎売りを披露	外郎売りを覚える
14	9月1日	講義・演習	イベント実践を通して表現を学ぶ	レポート作成
15	9月8日	講義・演習	イベント実践を通して表現を学ぶ	レポート作成
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	アクセント滑舌(2)	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	岩永哲哉
学科・コース	ダンス＆アクターズ科(昼間部2)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30 (2単位)		
教員の略歴	○新世紀エヴァンゲリオン（相田ケンスケ） ○遊☆戯☆王デュエルモンスターズ（マリク・イシュタール） ○魔法少女まどか☆マギカ(鹿目知久) ○忍たま乱太郎（鬼蜘蛛丸） ○ツバサ・クロニクル（蒼石）○ビーストウォーズ 超生命体トランスフォーマー（エアラザー）□						
授業の学習内容	発声、滑舌、外郎売り、朗読、台詞の訓練。						
到達目標	声優（俳優）の基礎である発声・滑舌を学び、表現力への一歩を踏み出す。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	声優・俳優という職業について。 授業内容について。自己紹介。声優・俳優という職業について。 授業内容について。自己紹介。	説明を受けて、ヴォイスサンプルの準備説明を受けて、ヴォイスサンプルの準備
2	10月13日	講義・演習	腹式呼吸。自己解放。外郎売り。外郎売りの歴史。	ヴォイスサンプルの練習ヴォイスサンプルの練習
3	10月20日	講義・演習	腹式呼吸。自己解放。外郎売り	ヴォイスサンプルの練習ヴォイスサンプルの練習
4	10月27日	講義・演習	腹式呼吸。自己解放。外郎売り	絵本の練習絵本の練習
5	11月3日	講義・演習	腹式呼吸。自己解放。外郎売り	絵本の練習絵本の練習
6	11月17日	講義・演習	腹式呼吸。自己解放。外郎売り	絵本の練習絵本の練習
7	11月24日	講義・演習	腹式呼吸。自己解放。外郎売り	絵本の練習絵本の練習
8	12月1日	講義・演習	腹式呼吸。自己解放。外郎売り	セリフの練習
9	12月8日	講義・演習	腹式呼吸。自己解放。外郎売り	セリフの練習
10	12月15日	講義・演習	腹式呼吸。自己解放。外郎売り	セリフの練習
11	1月12日	講義・演習	腹式呼吸。自己解放。外郎売り	セリフの練習
12	1月19日	講義・演習	腹式呼吸。自己解放。外郎売り	セリフの練習
13	2月2日	講義・演習	外郎売りテスト。クラス内で外郎売りを披露	セリフの練習
14	2月9日	講義・演習	イベント実践を通して表現を学ぶ	レポート作成
15	2月16日	講義・演習	イベント実践を通して表現を学ぶ	レポート作成
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	発声(1)	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	山口晃
学科・コース	ダンス＆アクターズ科(昼間部2)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30（2単位）		
教員の略歴	劇団青年座所属、俳優歴44年、講師歴20年						
授業の学習内容	自分の身体を知るためのストレッチ。 その身体で全ての演技に必要な発声を身につける。 自分のイメージした声・滑舌ができるようになる。						
到達目標	自分の身体からの正しい発声を身につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月21日	講義・演習	発声についての講義。それを理解できる。	講義の復習をする。
2	4月28日	講義・演習	ストレッチ、呼吸法により自分の声を出すことができる。	ストレッチ・息の体操を復習する。
3	5月12日	講義・演習	ストレッチ、体力作り、母音の発声ができる。	発声の復習をする。
4	5月19日	講義・演習	ストレッチ、ウラ声、オモテ声による発声ができる。	ストレッチを覚える（予習）
5	5月26日	講義・演習	全員でストレッチを覚えることができる。	ストレッチ・発声の復習をする。
6	6月2日	講義・演習	ストレッチリーダーにより全員それぞれが正しくできる。	外郎売の予習をする。
7	6月9日	講義・演習	外郎売により良い滑舌ができる。	外郎売を覚える（予習）
8	6月16日	講義・演習	毎回行うストレッチ・発声を再確認できる	ストレッチ・発声の復習をする。
9	6月23日	講義・演習	シアターゲームにより相手に声を届けることができる。	ストレッチ・発声の復習をする。
10	6月30日	講義・演習	子音の有声音、無声音を学び発声できる。	外郎売を練習する。
11	7月7日	講義・演習	ウラ声の発声により、良い滑舌ができる。	外郎売を練習する。
12	7月14日	講義・演習	テスト　外郎売の一部を正しい発声で演じることができる	テストの反省文をレポート
13	8月25日	講義・演習	前期の見返し、後期の課題を見つけることができる。	ストレッチ・発声復習する。
14	9月1日	講義・演習	イベント実践を通して表現を学ぶ	レポート作成
15	9月8日	講義・演習	イベント実践を通して表現を学ぶ	レポート作成
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

動きやすい格好。ダンススニーカー、タオル、水など

科目名	発声(2)	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	山口晃
学科・コース	ダンス＆アクターズ科(昼間部2)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30（2単位）		
教員の略歴	劇団青年座所属、俳優歴44年、講師歴20年						
授業の学習内容	自分の身体を知るためのストレッチ。 その身体で全ての演技に必要な発声を身につける。 相手役のあるテキストにより、自分のイメージした声、滑舌ができるようになる。						
到達目標	自分の身体から相手に届く発声を身につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	ストレッチ・発声・シアターゲームなどを再度正しく理解できる。	ストレッチ・発声を復習する。
2	10月13日	講義・演習	ストレッチ・発声により現在の自分の実力を知ることができる。	ストレッチ・発声を復習する。
3	10月20日	講義・演習	ストレッチ・発声後 シアターゲームにより相手に声を届けることができる。	ストレッチ・発声を復習する。
4	10月27日	講義・演習	セリフのテキストを配布し説明。それを理解できる。	セリフの練習（予習）
5	11月3日	講義・演習	セリフのテキストを本読み。読むことができる。	セリフの練習（予習・復習）
6	11月17日	講義・演習	ストレッチ・発声後 本読みでの点･丸の意味を理解できる。	セリフの練習（予習・復習）
7	11月24日	講義・演習	ストレッチ・発声後 相手役を意識し相手に声が届くことができる。	セリフの練習（予習・復習）
8	12月1日	講義・演習	ストレッチ・発声後 演技を意識した発声ができる。	セリフを覚える（予習）
9	12月8日	講義・演習	ストレッチ・発声後 立ち稽古により相手に届く声ができる。	セリフの練習（予習・復習）
10	12月15日	講義・演習	ストレッチ・発声後 動きと連動した発声ができる。	セリフの練習（予習・復習）
11	1月12日	講義・演習	ストレッチ・発声後　立ち稽古 他の演技者をみることにより自分を知ることができる。	セリフの練習（予習・復習）
12	1月19日	講義・演習	テスト　テキストの演技をすることができる。	テストの反省文とレポート
13	2月2日	講義・演習	1年生を振り返って2年次の課題を見ることができる。	ストレッチ・発声（復習）
14	2月9日	講義・演習	イベント実践を通して表現を学ぶ	レポート作成
15	2月16日	講義・演習	イベント実践を通して表現を学ぶ	レポート作成
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

動きやすい格好。ダンススニーカー、タオル、水など

科目名	Actor`s HIP HOP(1)	必修選択	選択	年次	1	担当教員	田島あこ
学科・コース	ダンス＆アクターズ科(昼間部2)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30（2単位）		
教員の略歴	a-nation・及川光博・中村あゆみ・MAX・hitomi・相川七瀬・プリキュアオールスターズ・三森すずこ・上坂すみれ等アーティストバックアップダンサーやMV出演　明治安田生命CM出演　私立・公立高校ダンス部指導　スタジオインストラクター□						
授業の学習内容	①リズム感を養う。また体力をつけ、自分の身体知り強化する。臨機応変な対応や即興力を身につける。 ②表現力や対応力が身に付くため舞台等にも役立つ ③身体を動かし汗をかく事の大切さや楽しさを知ってほしい 基礎的な身体づくりや体力づくりから始め、音楽に合わせてステップを踏んだりなどのリズムトレーニング						
到達目標	毎回やっていく振付を授業内で覚える。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義・演習	基礎トレーニングを覚える	ストレッチ
2	4月24日	講義・演習	身体の使い方を理解する	ストレッチ
3	5月8日	講義・演習	DOWNの強化	ストレッチ
4	5月15日	講義・演習	DOWNにステップを取り入れる	ストレッチ
5	5月22日	講義・演習	UPの強化	ストレッチ
6	5月29日	講義・演習	UPにステップを取り入れる	ストレッチ
7	6月5日	講義・演習	DOWNやUPステップの組み合わせ	ストレッチ
8	6月12日	講義・演習	軸の強化	ストレッチ
9	6月19日	講義・演習	ターンを習得	ストレッチ
10	6月26日	講義・演習	ステップからのターンを習得	ストレッチ
11	7月3日	講義・演習	ステップの応用を習得	ストレッチ
12	7月10日	講義・演習	複雑なコンビネーションを習得	ストレッチ
13	8月21日	講義・演習	前期のまとめを実践	ストレッチ
14	8月28日	講義・演習	イベント実践を通して表現を学ぶ	レポート作成
15	9月4日	講義・演習	イベント実践を通して表現を学ぶ	レポート作成
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

動きやすい格好。ダンススニーカー

科目名	Actor`s HIP HOP(2)	必修選択	選択	年次	1	担当教員	田島あこ
学科・コース	ダンス＆アクターズ科(昼間部2)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30（2単位）		
教員の略歴	a-nation・及川光博・中村あゆみ・MAX・hitomi・相川七瀬・プリキュアオールスターズ・三森すずこ・上坂すみれ等アーティストバックアップダンサーやMV出演　明治安田生命CM出演　私立・公立高校ダンス部指導　スタジオインストラクター□						
授業の学習内容	①リズム感を養う。また体力をつけ、自分の身体知り強化する。臨機応変な対応や即興力を身につける。 ②表現力や対応力が身に付くため舞台等にも役立つ ③身体を動かし汗をかく事の大切さや楽しさを知ってほしい 基礎的な身体づくりや体力づくりから始め、音楽に合わせてステップを踏んだりなどのリズムトレーニング						
到達目標	動きにメリハリをつけ、しなやかかつ力強く踊る						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月2日	講義・演習	前期のまとめを復習	ストレッチ
2	10月9日	講義・演習	体力強化	ストレッチ
3	10月16日	講義・演習	柔軟性を強化ししなやかな動を習得	ストレッチ
4	10月23日	講義・演習	動きにメリハリをつける	ストレッチ
5	10月30日	講義・演習	踊りに合わせた表情、表現力を習得	ストレッチ
6	11月6日	講義・演習	即興力を身に着ける	ストレッチ
7	11月13日	講義・演習	振付と即興ダンスの組み合わせ	ストレッチ
8	11月20日	講義・演習	チームダンスを習得	ストレッチ
9	11月27日	講義・演習	ソロダンスとチームダンスの組み合わせ	ストレッチ
10	12月4日	講義・演習	カノンを取り入れた動きを習得	ストレッチ
11	12月11日	講義・演習	フォーメーションを組み合わせて踊る	ストレッチ
12	12月18日	講義・演習	後期のまとめを実践	ストレッチ
13	1月15日	講義・演習	1年間の総まとめを実践	振り返り
14	1月29日	講義・演習	イベント実践を通して表現を学ぶ	レポート作成
15	2月5日	講義・演習	イベント実践を通して表現を学ぶ	レポート作成
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

動きやすい格好。ダンススニーカー

科目名	Actor's ヴォーカルトレーニング(1)	必修選択	選択	年次	1	担当教員	西涼子
学科・コース	ダンス＆アクターズ科(昼間部2)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30 (2単位)		
教員の略歴	多数アーティストのバックコーラスとしてレコーディングやTV番組、コンサートツアーに参加。ロサンゼルス在住のマイケルジャクソン氏のボイストレーナー　セス・リグス氏に、レッスンを受け専門学校・楽器店の講師30年目となる。						
授業の学習内容	表現者としての心の解放、コミュニケーション能力の向上を図る。						
到達目標	歌で自己を表現できる。歌う上での基礎知識を得ることができる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月18日	講義・演習	ガイダンス、姿勢・呼吸チェック	姿勢、呼吸、発声、歌唱練習
2	5月9日	講義・演習	姿勢・呼吸、発声指導、歌唱(呼吸指導)	姿勢、呼吸、発声、歌唱練習
3	5月16日	講義・演習	姿勢・呼吸、発声チェック、歌唱(呼吸・口の使い方指導)	姿勢、呼吸、発声、歌唱練習
4	5月23日	講義・演習	姿勢・呼吸、発声チェック、歌唱(発音指導)	姿勢、呼吸、発声、歌唱練習
5	5月30日	講義・演習	姿勢・呼吸、発声チェック、歌唱(フレージング)、ソルフェージュ	姿勢、呼吸、発声、歌唱練習
6	6月6日	講義・演習	姿勢・呼吸、発声チェック、歌唱(仕上げ)	姿勢、呼吸、発声、歌唱練習
7	6月13日	講義・演習	姿勢・呼吸、発声チェック、歌唱(呼吸・口の使い方指導)	姿勢、呼吸、発声、歌唱練習
8	6月20日	講義・演習	姿勢・呼吸、発声チェック、歌唱(発音指導)、楽譜の読み方指導	姿勢、呼吸、発声、歌唱練習
9	6月27日	講義・演習	姿勢・呼吸、発声チェック、歌唱(フレージング)	姿勢、呼吸、発声、歌唱練習
10	7月4日	講義・演習	姿勢・呼吸、発声チェック、歌唱(仕上げ)	姿勢、呼吸、発声、歌唱練習
11	7月11日	講義・演習	姿勢・呼吸、発声チェック、歌唱(発表会に向けての練習)	姿勢、呼吸、発声、歌唱練習
12	7月18日	講義・演習	姿勢・呼吸、発声チェック、歌唱、クラス内発表	姿勢、呼吸、発声、歌唱練習
13	8月22日	講義・演習	姿勢・呼吸、発声チェック、歌唱、宿題提出	姿勢、呼吸、発声、歌唱練習
14	8月29日	講義・演習	イベント実戦を通じてパフォーマンス力を学ぶ	レポート作成
15	9月5日	講義・演習	イベント実戦を通じてパフォーマンス力を学ぶ	レポート作成
準備学習　時間外学習			発声練習と課題曲練習	

【使用教科書・教材・参考書】

iPad、スマートフォンなどの録音機材／五線紙

科目名	Actor's ヴォーカルトレーニング(2)	必修選択	選択	年次	1	担当教員	西涼子
学科・コース	ダンス＆アクターズ科(昼間部2)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30 (2単位)		
教員の略歴	多数アーティストのバックコーラスとしてレコーディングやTV番組、コンサートツアーに参加。ロサンゼルス在住のマイケルジャクソン氏のボイストレーナー　セス・リグス氏に、レッスンを受け専門学校・楽器店の講師30年目となる。						
授業の学習内容	表現者としての心の解放、コミュニケーション能力の向上を図る。						
到達目標	歌で自己を表現できる。歌う上での基礎知識を得ることができる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月3日	講義・演習	姿勢・呼吸チェック、歌唱、外化	姿勢、呼吸、発声、歌唱練習
2	10月10日	講義・演習	姿勢・呼吸、発声チェック、歌唱(呼吸・口の使い方指導)	姿勢、呼吸、発声、歌唱練習
3	10月17日	講義・演習	姿勢・呼吸、発声チェック、歌唱(発音指導)	姿勢、呼吸、発声、歌唱練習
4	10月24日	講義・演習	姿勢・呼吸、発声チェック、歌唱(フレージング)、ソルフェージュ	姿勢、呼吸、発声、歌唱練習
5	10月31日	講義・演習	姿勢・呼吸、発声チェック、歌唱(仕上げ)	姿勢、呼吸、発声、歌唱練習
6	11月7日	講義・演習	姿勢・呼吸、発声チェック、歌唱(呼吸・口の使い方指導)	姿勢、呼吸、発声、歌唱練習
7	11月14日	講義・演習	姿勢・呼吸、発声チェック、歌唱(発音指導)、楽譜の読み方指導	姿勢、呼吸、発声、歌唱練習
8	11月21日	講義・演習	姿勢・呼吸、発声チェック、歌唱(フレージング)	姿勢、呼吸、発声、歌唱練習
9	11月28日	講義・演習	姿勢・呼吸、発声チェック、歌唱(仕上げ)	姿勢、呼吸、発声、歌唱練習
10	12月5日	講義・演習	姿勢・呼吸、発声チェック、歌唱(発表会に向けての練習)	姿勢、呼吸、発声、歌唱練習
11	12月12日	講義・演習	姿勢・呼吸、発声チェック、歌唱、ソルフェージュ	姿勢、呼吸、発声、歌唱練習
12	12月19日	講義・演習	姿勢・呼吸・発声チェック、歌唱、クラス内発表	姿勢、呼吸、発声、歌唱練習
13	1月9日	講義・演習	姿勢・呼吸チェック、歌唱、外化	姿勢、呼吸、発声、歌唱練習
14	1月16日	講義・演習	イベント実践を通じてパフォーマンス力を学ぶ	レポート作成
15	1月30日	講義・演習	イベント実践を通じてパフォーマンス力を学ぶ	レポート作成
準備学習　時間外学習			発声練習と課題曲練習	

【使用教科書・教材・参考書】

iPad、スマートフォンなどの録音機材／五線紙

科目名	ドラマアクティング基礎(1)	必修選択	選択	年次	1	担当教員	竹田光一
学科・コース	ダンス＆アクターズ科(昼間部2)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30（2単位）		
教員の略歴	映画、ドラマ、舞台、CFに多数出演。日本演出者協会会員。剣舞 菊秀流 師範。□						
授業の学習内容	特に映像演技と舞台演技の表現の違いを理解させ、カメラに対しての表現方法の大切さ。 アクティングプランとアクションの誤差を少しでも無くし、自分のイメージ通り、 また監督からの要求される演技をすぐに自己修正し、表現できるようにする。 映画・ドラマで、要求される最低限の現場で困らないための表現を躰で得とくする。 カメラなど、裏方も経験することにより、表現の幅を広げ、感性を育てる。 今年度は、2年生と合同授業となり、先輩方からも刺激を受け、協調性を学ぶ。						
到達目標	1）映像演技の絵作り、カメラに対しての演技【カメラに慣れる】 2）内面の感情表現を、台詞以外の顔の表情、呼吸などで、表現を感情を伝える力を身につける。 3）カット割りで、繋がる演技を会得する。即戦力になるように人格、プロの俳優としての意識・演技・礼節を身につける。□						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月21日	講義・演習	オーディション(AD)対策。15分で自分で演技プランの組み立て演じる。（自己PR＆演技を撮影）	自己PRを考えておく
2	4月28日	講義・演習	前回の映像チェック	カメラテスト。次回の台本、配布
3	5月12日	講義・演習	①「一人芝居台本」リハーサル	今回の反省を次回に生かす
4	5月19日	講義・演習	②「一人芝居台本」撮影	各人でそれぞれFBを自分の物にする
5	5月26日	講義・演習	③「一人芝居台本」映像チェック	「ショートムービー」プランを考えてくる
6	6月2日	講義・演習	①「ショートムービー」制作の話し合い	話し合いの結果を踏まえ次回発表
7	6月9日	講義・演習	②「ショートムービー」原案・プレゼン。 作品、役割決定。	今回の話し合いでの課題を次回進展
8	6月16日	講義・演習	③「ショートムービー」台本・絵コンテ作成	今回の話し合いでの課題を次回進展
9	6月23日	講義・演習	④「ショートムービー」台本・絵コンテ作成	今回の話し合いでの課題を次回進展
10	6月30日	講義・演習	⑤「ショートムービー」台本・絵コンテ作成	今回の話し合いでの課題を次回進展
11	7月7日	講義・演習	⑥「ショートムービー」台本・絵コンテ、キャスト・スタッフ、香盤表、決定	今回の話し合いでの課題を次回進展
12	7月14日	講義・演習	「ショートムービー」リハーサルA班	※レポート提出
13	8月25日	講義・演習	「ショートムービー」リハーサルB班	※「夏休みの「4コマ動画」 告知
14	9月1日	講義・演習	イベント実践を通して表現を学ぶ	レポート作成
15	9月8日	講義・演習	イベント実践を通して表現を学ぶ	レポート作成
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

ipad、撮影に合わせての服装

科目名	ドマアクティング基礎(2)	必修選択	選択	年次	1	担当教員	竹田光一
学科・コース	ダンス＆アクターズ科(昼間部2)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30 (2単位)		
教員の略歴	映画、ドラマ、舞台、CFに多数出演。日本演出者協会会員。剣舞 菊秀流 師範。□						
授業の学習内容	特に映像演技と舞台演技の表現の違いを理解させ、カメラに対しての表現方法の大切さ。 アクティングプランとアクションの誤差を少しでも無くし、自分のイメージ通り、 また監督からの要求される演技をすぐに自己修正し、表現できるようにする。 映画・ドラマで、要求される最低限の現場で困らないための表現を躰で得とくする。 カメラなど、裏方も経験することにより、表現の幅を広げ、感性を育てる。 今年度は、2年生と合同授業となり、先輩方からも刺激を受け、協調性を学ぶ。						
到達目標	1）映像演技の絵作り、カメラに対しての演技【カメラに慣れる】 2）内面の感情表現を、台詞以外の顔の表情、呼吸などで、表現を感情を伝える力を身につける。 3）カット割りで、繋がる演技を会得する。即戦力になるように人格、プロの俳優としての意識・演技・礼節を身につける。□						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	※「夏休みの「4コマ動画作品」 上映会	次週のの確認
2	10月13日	講義・演習	⑧「ショートムービー」撮影日	チラシ・パンフ制作確認
3	10月20日	講義・演習	⑨「ショートムービー」撮影日	次週の確認
4	10月27日	講義・演習	⑨「ショートムービー」撮影日	次週の確認
5	11月3日	講義・演習	⑩「ショートムービー」撮影日	次週の確認
6	11月17日	講義・演習	⑪「ショートムービー」撮影日	次週の確認
7	11月24日	講義・演習	⑫「ショートムービー」撮影日	次週の確認
8	12月1日	講義・演習	⑬「ショートムービー」撮影日予備日	次週の確認
9	12月8日	講義・演習	⑭「ショートムービー」編集	次週の確認
10	12月15日	講義・演習	⑮「ショートムービー」編集	次週の確認
11	1月12日	講義・演習	⑯「ショートムービー」予備日	※レポート提出
12	1月19日	講義・演習	⑯「ショートムービー」上映会リハーサル	※レポート提出
13	2月2日	講義・演習	⑰「ショートムービー」上映会	選ばれた作品のみ上映します
14	2月9日	講義・演習	イベント実践を通して表現を学ぶ	レポート作成
15	2月16日	講義・演習	イベント実践を通して表現を学ぶ	レポート作成
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

ipad、撮影に合わせての服装

科目名	演劇ゼミ(1)	必修選択	選択	年次	1	担当教員	山口晃
学科・コース	ダンス＆アクターズ科(昼間部2)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30（2単位）		
教員の略歴	劇団青年座所属、俳優歴44年、講師歴20年						
授業の学習内容	人に伝えることを第一に考え、心を動かすことを目標にし、演技を学ぶ。 すべての授業の集大成としての演劇公演をすることで演技の向上ができるようにする。						
到達目標	自分の役をイメージした声・動きによって演技ができる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月21日	講義・演習	演技についての講義。それを理解できる。	講義の復習、テキストの予習をする。
2	4月28日	講義・演習	短いセリフのテキストの本読みで自分の課題を知ることがで	セリフの練習（復習）
3	5月12日	講義・演習	公演用台本配布・説明。それを理解できる。	台本の本読み（予習）
4	5月19日	講義・演習	本読みにより台本の組み立て・テーマを知ることができる。	本読みの復習・自分の希望の役を決める。
5	5月26日	講義・演習	オーディションに臨むことができる。	本読みの復習。
6	6月2日	講義・演習	決定したキャストで本読みをすることができる。	自分の役の練習。
7	6月9日	講義・演習	本読みにより、自分の役を理解できる。	セリフを覚える。（予習）
8	6月16日	講義・演習	立ち稽古をし、自分の役割を動きを知ることができる。	演技の練習。
9	6月23日	講義・演習	衣装、小道具を決め、役のビジュアルを知ることができる。	台本を読み返す（予習・復習）
10	6月30日	講義・演習	通し稽古を通して、自分の演技の向上ができる。	相手のセリフを覚える、
11	7月7日	講義・演習	スタッフ入り、通し稽古で演技できる。	演技の練習。
12	7月14日	講義・演習	本番通りの稽古を通して観客を意識した演技ができる。	演技の練習。
13	8月25日	講義・演習	前期を振り返り、後期の課題を見つけることができる。	反省文（レポート）
14	9月1日	講義・演習	イベント実践を通して表現を学ぶ	レポート作成
15	9月8日	講義・演習	イベント実践を通して表現を学ぶ	レポート作成
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

動きやすい格好。ダンススニーカー、タオル、水など

科目名	演劇ゼミ(2)	必修選択	選択	年次	1	担当教員	山口晃
学科・コース	ダンス＆アクターズ科(昼間部2)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30（2単位）		
教員の略歴	劇団青年座所属、俳優歴44年、講師歴20年						
授業の学習内容	人に伝えることを第一に考え、心を動かすことを目標にし、演技を学ぶ。 すべての授業の集大成としての演劇公演をすることで演技の向上ができるようにする。						
到達目標	自分の役をイメージした声・動きによって演技ができる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	後期の目標を設定することができる。	後期の目標（レポート）
2	10月13日	講義・演習	イメージトレーニング・スローモーションにより様々な演技の対処ができる。	課題（イメージトレーニング）の予習をする。
3	10月20日	講義・演習	イメージトレーニングの後 公演用台本配布、説明、それを理解できる。	台本、本読みの予習をする。
4	10月27日	講義・演習	本読みにより台本の組み立て・テーマを知ることができる	自分の希望の役を決める。（予習）
5	11月3日	講義・演習	オーディションに臨むことができる。	本読みの復習をする。
6	11月17日	講義・演習	決定したキャストで本読みをすることができる。	自分の役の復習をする。
7	11月24日	講義・演習	本読みにより、自分の役を理解できる。	セリフを覚える。（予習）
8	12月1日	講義・演習	立ち稽古をし全体のミザンスや自分の役割を知ることができる。	ミザンスの確認（復習）
9	12月8日	講義・演習	役の全体（衣装・小道具）を知ることができる。	演技の練習（復習）
10	12月15日	講義・演習	通し稽古で自分の役が向上できる。	相手のセリフを覚える。
11	1月12日	講義・演習	スタッフ入り。音に合わせた演技ができる。	演技の練習
12	1月19日	講義・演習	本番通り稽古。観客を意識した演技ができる。	演技の練習
13	2月2日	講義・演習	反省会で二年次の課題を見つけることができる。	反省文（レポート）
14	2月9日	講義・演習	イベント実践を通して表現を学ぶ	レポート作成
15	2月16日	講義・演習	イベント実践を通して表現を学ぶ	レポート作成
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

動きやすい格好。ダンススニーカー、タオル、水など

科目名	Body expression(1)	必修選択	選択	年次	1	担当教員	柳瀬眞澄
学科・コース	ダンス＆アクターズ科(昼間部2)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30（2単位）		
教員の略歴	元小林紀子バレエ団にてプリマとして主役を踊る他、文化庁助成日本バレエ協会公演、文化庁主催　全国移動公演都民芸術フェスティバル、日本バレエフェスティバル等に出演。						
授業の学習内容	バレエレッスン（体つくりとバレエの基礎レッスン）						
到達目標	バレエを通し、姿勢が良くなり、身体コントロール、表現を学ぶ。 自分自身（人間）の体を知り、自分自身を客観的にコントロールし空間への広がり、表現の幅を広げる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義・演習	体を正しい位置のためのストレッチ	基本ストレッチを確認
2	4月24日	講義・演習	足の基本ポジション	基本ストレッチと足のポジション確認
3	5月8日	講義・演習	プリエ（ひざの曲げ方）	ストレッチとプリエ確認
4	5月15日	講義・演習	タンジェ（足の前へ出し片足で立つ）	ストレッチとタンジェ確認
5	5月22日	講義・演習	デガジェ（床から足を上げる）	ストレッチとデガジェ確認
6	5月29日	講義・演習	クッペ・ルティレ（足を曲げ片足で立つ）	ストレッチとクッペ・ルティレ確認
7	6月5日	講義・演習	ライズ（かかとをあげる・背伸び）	ストレッチとライズ確認
8	6月12日	講義・演習	ロンデジャンプ（各方向へ足を回す）	ストレッチとロンデジャンプ確認
9	6月19日	講義・演習	タンリエ（体重を移動させる）	ストレッチとタンリエ確認
10	6月26日	講義・演習	ポールドブラ（手の動かし方）	ストレッチとポールドブラ確認
11	7月3日	講義・演習	ジャンプ（指をける）	ストレッチとジャンプ確認
12	7月10日	講義・演習	すべての復習	ストレッチと前期の振り返り
13	8月21日	講義・演習	前期テスト	ストレッチと前期の振り返り
14	8月28日	講義・演習	イベント実践を通して表現を学ぶ	レポート作成
15	9月4日	講義・演習	イベント実践を通して表現を学ぶ	レポート作成
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	Body expressio(2)	必修選択	選択	年次	1	担当教員	柳瀬眞澄
学科・コース	ダンス＆アクターズ科(昼間部2)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30（2単位）		
教員の略歴	元小林紀子バレエ団にてプリマとして主役を踊る他、文化庁助成日本バレエ協会公演、文化庁主催　全国移動公演都民芸術フェスティバル、日本バレエフェスティバル等に出演。						
授業の学習内容	バレエレッスン（体つくりとバレエの基礎レッスン）						
到達目標	バレエを通し、姿勢が良くなり、身体コントロール、表現を学ぶ。 自分自身（人間）の体を知り、自分自身を客観的にコントロールし空間への広がり、表現の幅を広げる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月2日	講義・演習	前期の復習	ストレッチ・レッスン内容の振り返り
2	10月9日	講義・演習	ストレッチ・バーレッスン・センターレッスン	ストレッチ・レッスン内容の振り返り
3	10月16日	講義・演習	ストレッチ・バーレッスン・センターレッスン	ストレッチ・レッスン内容の振り返り
4	10月23日	講義・演習	ストレッチ・バーレッスン・センターレッスン	ストレッチ・レッスン内容の振り返り
5	10月30日	講義・演習	ストレッチ・バーレッスン・センターレッスン	ストレッチ・レッスン内容の振り返り
6	11月6日	講義・演習	ストレッチ・バーレッスン・センターレッスン	ストレッチ・レッスン内容の振り返り
7	11月13日	講義・演習	ストレッチ・バーレッスン・センターレッスン	ストレッチ・レッスン内容の振り返り
8	11月20日	講義・演習	ストレッチ・バーレッスン・センターレッスン	ストレッチ・レッスン内容の振り返り
9	11月27日	講義・演習	ストレッチ・バーレッスン・センターレッスン	ストレッチ・レッスン内容の振り返り
10	12月4日	講義・演習	ストレッチ・バーレッスン・センターレッスン	ストレッチ・レッスン内容の振り返り
11	12月11日	講義・演習	ストレッチ・バーレッスン・センターレッスン	ストレッチ・レッスン内容の振り返り
12	12月18日	講義・演習	ストレッチ・バーレッスン・センターレッスン	ストレッチ・レッスン内容の振り返り
13	1月15日	講義・演習	テスト	テスト振り返り
14	1月29日	講義・演習	イベント実践を通して表現を学ぶ	レポート作成
15	2月5日	講義・演習	イベント実践を通して表現を学ぶ	レポート作成
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	演技ファンダメンタル（1）	必修選択	選択	年次	1	担当教員	大塚智則
学科・コース	ダンス＆アクターズ科(昼間部2)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30（2単位）		
教員の略歴	声優歴は17年、外国作品の吹替えが主で、現在1700本以上に出演。声優の傍ら外国映画、ドラマの音響ディレクターも兼任。講師歴は10年以上、プロとしてデビューさせた生徒は200人を超える。声優で結成したNPO法人Pastel・switchの理事も兼任している。						
授業の学習内容	秩序と方法論とエチュード、状況的感情の抜粋再現、感情とコミュニケーション能力を養うエクササイズを軸に所々にインプロを織り交ぜながら、状況を楽しめる訓練を実施する。						
到達目標	演じるという事の目的を、エチュードや秩序と方法論、インプロ等で、互いの意識の接触の中で気付かせていく。いかに普段の生活の中に沢山のヒントが隠されているか。自身の可能性と長所も並行して確立していく。演技は再現力であること、想像と情報を駆使し、物事を高いレベルで正当化する力を、自覚できるようにする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月20日	講義・演習	自己紹介	自身の自分なりの情報を用意
2	4月27日	講義・演習	感情を力に転化する1	様々な音の質感を確認する
3	5月11日	講義・演習	感情を力に転化する1	様々な音の質感を確認する
4	5月18日	講義・演習	正当化の重要性を知る。	日常動作の記憶
5	5月25日	講義・演習	正当化の重要性を知る。	日常動作の記憶
6	6月1日	講義・演習	発想転換で柔軟な思考を作る	映画やドラマの視聴（国内外問わず）
7	6月8日	講義・演習	発想転換で柔軟な思考を作る	映画やドラマの視聴（国内外問わず）
8	6月15日	講義・演習	情報不伝達と笑う事の重要性体験	表情筋鍛錬、確認
9	6月22日	講義・演習	情報不伝達と笑う事の重要性体験	表情筋鍛錬、確認
10	6月29日	講義・演習	感情を力に転化する2	戦争映画の視聴
11	7月6日	講義・演習	感情を力に転化する2	戦争映画の視聴
12	7月13日	講義・演習	感情を力に転化する2	戦争映画の視聴
13	8月24日	講義・演習	秩序と方法による日常から非日常のクローズアップ1	過去の思い出の掘り起こし
14	8月31日	講義・演習	イベント実践を通して表現を学ぶ	レポート作成
15	9月7日	講義・演習	イベント実践を通して表現を学ぶ	レポート作成
準備学習　時間外学習			発声練習、滑舌練習、ファルセット（裏声）発声映画やドラマの視聴（国内外問わず）	

【使用教科書・教材・参考書】

エチュード時、動きやすい恰好。メモ用筆記用具。

科目名	演技ファンダメンタル (2)	必修選択	選択	年次	1	担当教員	大塚智則
学科・コース	ダンス＆アクターズ科(昼間部2)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30 (2単位)		

教員の略歴	声優歴は17年、外国作品の吹替えが主で、現在1700本以上に出演。声優の傍ら外国映画、ドラマの音響ディレクターも兼任。講師歴は10年以上、プロとしてデビューさせた生徒は200人を超える。声優で結成したNPO法人Pastel・switchの理事も兼任している。
授業の学習内容	秩序と方法論とエチュード、状況的感情の抜粋再現、感情とコミュニケーション能力を養うエクササイズを軸に所々にインプロを織り交ぜながら、状況を楽しめる訓練を実施する。
到達目標	演じるという事の目的を、エチュードや秩序と方法論、インプロ等で、互いの意識の接触の中で気付かせていく。いかに普段の生活の中に沢山のヒントが隠されているか。自身の可能性と長所も並行して確立していく。演技は再現力であること、想像と情報を駆使し、物事を高いレベルで正当化する力を、自覚できるようにする。
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月5日	講義・演習	パーソナルゾーンと自己性質確認	反対行動体験
2	10月12日	講義・演習	パーソナルゾーンと自己性質確認	反対行動体験
3	10月19日	講義・演習	パーソナルゾーンと自己性質確認	反対行動体験
4	10月26日	講義・演習	感情ミックスアップ演習	アウトドアの魅力調査
5	11月2日	講義・演習	感情ミックスアップ演習	アウトドアの魅力調査
6	11月16日	講義・演習	感情ミックスアップ演習	アウトドアの魅力調査
7	11月23日	講義・演習	秩序と方法論演習	映画やドラマの視聴（国内外問わず）
8	11月30日	講義・演習	秩序と方法論演習	映画やドラマの視聴（国内外問わず）
9	12月7日	講義・演習	秩序と方法論演習	映画やドラマの視聴（国内外問わず）
10	12月14日	講義・演習	目的エチュード演習	映画やドラマの視聴（国内外問わず）
11	12月21日	講義・演習	目的エチュード演習	映画やドラマの視聴（国内外問わず）
12	1月11日	講義・演習	目的エチュード演習	映画やドラマの視聴（国内外問わず）
13	1月18日	講義・演習	秩序と方法による日常から非日常のクローズアップ2	過去の思い出の掘り起こし
14	2月1日	講義・演習	イベント実践を通して表現を学ぶ	レポート作成
15	2月8日	講義・演習	イベント実践を通して表現を学ぶ	レポート作成
準備学習　時間外学習			発声練習、滑舌練習、ファルセット（裏声）発声	

【使用教科書・教材・参考書】

エチュード時、動きやすい恰好。メモ用筆記用具。

科目名	Actor's JAZZ(1)	必修選択	選択	年次	1	担当教員	田島あこ
学科・コース	ダンス＆アクターズ科(昼間部2)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30 (2単位)		
教員の略歴	a-nation・及川光博・ASIAN KUNG-FU GENERATION・プリキュアオールスターズ・三森すずこ・上坂すみれ等アーティストバックアップダンサー ノンスタイルMV・明治安田生命CM出演　私立、公立高校ダンス部指導　ダンススタジオインストラクター						
授業の学習内容	JAZZダンスを通じて、ダンスの楽しさ、身体を動かすことの重要性を知り身につけることによって、現場やオーディションでの対応力、自己表現力を養う。						
到達目標	JAZZの基礎を身につけ、技術スキルを上げるとともに、振り付けを覚え、自己表現（個性）を養う。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月18日	講義・演習	自己紹介・JAZZクラスの目的の把握・ダンスを習得することの目的、必要性の説明・簡単なストレッチ	ストレッチ
2	5月9日	講義・演習	ストレッチ・アイソレーション等の基礎	ストレッチ・基礎確認
3	5月16日	講義・演習	コンビネーション(振り付け)	ストレッチ・コンビネーション確認
4	5月23日	講義・演習	コンビネーション	ストレッチ・コンビネーション確認
5	5月30日	講義・演習	アイソレーションの応用・コンビネーション	ストレッチ・コンビネーション確認
6	6月6日	講義・演習	アイソレーションの応用・コンビネーション	ストレッチ・コンビネーション確認
7	6月13日	講義・演習	アイソレーションの応用・コンビネーション	ストレッチ・コンビネーション確認
8	6月20日	講義・演習	約4週にわたってテスト課題のコンビネーションを習得	ストレッチ・コンビネーション確認
9	6月27日	講義・演習	約4週にわたってテスト課題のコンビネーションを習得	ストレッチ・コンビネーション確認
10	7月4日	講義・演習	約4週にわたってテスト課題のコンビネーションを習得	ストレッチ・コンビネーション確認
11	7月11日	講義・演習	約4週にわたってテスト課題のコンビネーションを習得	ストレッチ・コンビネーション確認
12	7月18日	講義・演習	テスト内容の説明・課題練習	課題振り返り
13	8月22日	講義・演習	オーディション形式での課題発表	課題発表振り返り
14	8月29日	講義・演習	イベント実践を通して表現を学ぶ	レポート作成
15	9月5日	講義・演習	イベント実践を通して表現を学ぶ	レポート作成
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

運動のできる服装・シューズ・タオル・水分飲料　※ジーンズ等の伸びないボトムスNG　※ストッキングNG

科目名	Actor's JAZZ(2)	必修選択	選択	年次	1	担当教員	田島あこ
学科・コース	ダンス＆アクターズ科(昼間部1)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30（2単位）		
教員の略歴	a-nation・及川光博・ASIAN KUNG-FU GENERATION・プリキュアオールスターズ・三森すずこ・上坂すみれ等アーティストバックアップダンサー ノンスタイルMV・明治安田生命CM出演　私立、公立高校ダンス部指導　ダンススタジオインストラクター						
授業の学習内容	JAZZダンスを通じて、ダンスの楽しさ、身体を動かすことの重要性を知り身につけることによって、現場やオーディションでの対応力、自己表現力を養う。						
到達目標	JAZZの基礎を身につけ、技術スキルを上げるとともに、振り付けを覚え、自己表現（個性）を養う。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月3日	講義・演習	ストレッチ・アイソレーション等の基礎	ストレッチ
2	10月10日	講義・演習	コンビネーション（振り付け）	コンビネーションの復習・練習
3	10月17日	講義・演習	コンビネーション	コンビネーションの予習・復習・練習
4	10月24日	講義・演習	コンビネーション	コンビネーションの予習・復習・練習
5	10月31日	講義・演習	アイソレーションの応用・コンビネーション	コンビネーションの予習・復習・練習
6	11月7日	講義・演習	アイソレーションの応用・コンビネーション	コンビネーションの予習・復習・練習
7	11月14日	講義・演習	アイソレーションの応用・コンビネーション	コンビネーションの予習・復習・練習
8	11月21日	講義・演習	約4週にわたってテスト課題　コンビネーションを習得	課題の予習・復習・練習
9	11月28日	講義・演習	約4週にわたってテスト課題　コンビネーションを習得	課題の予習・復習・練習
10	12月5日	講義・演習	約4週にわたってテスト課題　コンビネーションを習得	課題の予習・復習・練習
11	12月12日	講義・演習	約4週にわたってテスト課題　コンビネーションを習得	課題の予習・復習・練習
12	12月19日	講義・演習	課題練習	課題の予習・復習・練習
13	1月9日	講義・演習	オーディション形式での課題発表	課題発表振り返り
14	1月16日	講義・演習	イベント実践を通して表現を学ぶ	レポート作成
15	1月30日	講義・演習	イベント実践を通して表現を学ぶ	レポート作成
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

運動のできる服装・シューズ・タオル・水分飲料　※ジーンズ等の伸びないボトムスNG　※ストッキングNG

科目名	ヴォーカルテクニック(1)	必修選択	選択	年次	1	担当教員	潤豊
学科・コース	ダンス＆アクターズ科(昼間部2)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30（2単位）		
教員の略歴	THE SOULMATICSのメンバーとしてイベント等に出演。多方面に活躍中。						
授業の学習内容	発声。各自選曲～歌唱。音程、リズム、メロディーの捉え方、表現の仕方、マイクの使い方、など細かくレクチャー。						
到達目標	歌唱及びステージングのテクニックやアーティストの感性を磨き、自信を持ってライブやレコーディングを行えることを目指す。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月20日	講義・演習	ガイダンス～授業の流れ、選曲、発声	選曲オケ・歌詞カード準備・作成
2	4月27日	講義・演習	発声、ソロ歌唱～レクチャー	アドバイス復習・個人選曲の練習
3	5月11日	講義・演習	発声、ソロ歌唱～レクチャー	アドバイス復習・個人選曲の練習
4	5月18日	講義・演習	発声、ソロ歌唱～レクチャー	アドバイス復習・個人選曲の練習
5	5月25日	講義・演習	発声、ソロ歌唱～レクチャー	アドバイス復習・個人選曲の練習
6	6月1日	講義・演習	発声、ソロ歌唱～レクチャー	アドバイス復習・個人選曲の練習
7	6月8日	講義・演習	発声、ソロ歌唱～レクチャー	アドバイス復習・個人選曲の練習
8	6月15日	講義・演習	発声、ソロ歌唱～レクチャー	アドバイス復習・個人選曲の練習
9	6月22日	講義・演習	発声、ソロ歌唱～レクチャー	アドバイス復習・個人選曲の練習
10	6月29日	講義・演習	発声、ソロ歌唱～レクチャー	アドバイス復習・個人選曲の練習
11	7月6日	講義・演習	発声、ソロ歌唱～レクチャー	アドバイス復習・個人選曲の練習
12	7月13日	講義・演習	発声、ソロ歌唱～レクチャー	アドバイス復習・個人選曲の練習
13	8月24日	講義・演習	歌唱テスト	後期に向けての選曲・歌詞カード準備・作成
14	8月31日	講義・演習	イベント実践を通して表現を学ぶ	レポート作成
15	9月7日	講義・演習	イベント実践を通して表現を学ぶ	レポート作成
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

各自選曲のオケ、歌詞カード（2部プリントアウト）　用意して下さい。

科目名	ヴォーカルテクニック(2)	必修選択	選択	年次	1	担当教員	潤豊
学科・コース	ダンス＆アクターズ科(昼間部2)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30（2単位）		
教員の略歴	THE SOULMATICSのメンバーとしてイベント等に出演。多方面に活躍中。						
授業の学習内容	発声。各自選曲～歌唱。音程、リズム、メロディーの捉え方、表現の仕方、マイクの使い方、など細かくレクチャー。						
到達目標	歌唱及びステージングのテクニックやアーティストの感性を磨き、自信を持ってライブやレコーディングを行えることを目指す。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	発声、ソロ歌唱～レクチャー	アドバイス復習・個人選曲の練習
2	10月13日	講義・演習	発声、ソロ歌唱～レクチャー	アドバイス復習・個人選曲の練習
3	10月20日	講義・演習	発声、ソロ歌唱～レクチャー	アドバイス復習・個人選曲の練習
4	10月27日	講義・演習	発声、ソロ歌唱～レクチャー	アドバイス復習・個人選曲の練習
5	11月3日	講義・演習	発声、ソロ歌唱～レクチャー	アドバイス復習・個人選曲の練習
6	11月17日	講義・演習	発声、ソロ歌唱～レクチャー	アドバイス復習・個人選曲の練習
7	11月24日	講義・演習	発声、ソロ歌唱～レクチャー	アドバイス復習・個人選曲の練習
8	12月1日	講義・演習	発声、ソロ歌唱～レクチャー	アドバイス復習・個人選曲の練習
9	12月8日	講義・演習	発声、ソロ歌唱～レクチャー	アドバイス復習・個人選曲の練習
10	12月15日	講義・演習	発声、ソロ歌唱～レクチャー	アドバイス復習・個人選曲の練習
11	1月12日	講義・演習	発声、ソロ歌唱～レクチャー	アドバイス復習・個人選曲の練習
12	1月19日	講義・演習	発声、ソロ歌唱～レクチャー	アドバイス復習・個人選曲の練習
13	2月2日	講義・演習	歌唱テスト	1年の振り返り
14	2月9日	講義・演習	イベント実践を通して表現を学ぶ	レポート作成
15	2月16日	講義・演習	イベント実践を通して表現を学ぶ	レポート作成
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

各自選曲のオケ、歌詞カード（2部プリントアウト）　用意して下さい。

科目名	エチュード(1)	必修選択	選択	年次	1	担当教員	大友恵理
学科・コース	ダンス＆アクターズ科(昼間部2)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30（2単位）		
教員の略歴	92年劇団都市彦に入団。以降1998年の解散までの全作品に出演。その後舞台、CM,映画、司会など多数出演。						
授業の学習内容	多種多様なエチュードを通して、自分自身を知り、日々の観察力や想像力、発想力を養っていく□						
到達目標	自分の直感を信じて、自信をもって表現できるようになる□						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月19日	講義・演習	自己紹介からのシアターゲーム	人とふれる
2	5月10日	講義・演習	リラックスして声を出す	声の出し方確認
3	5月17日	講義・演習	１人エチュード。自分を観察する	自分の観察
4	5月24日	講義・演習	２人エチュード。相手を意識する	自分の観察
5	5月31日	講義・演習	「静」から始まるエチュード	エチュードの振り返り
6	6月7日	講義・演習	「動」から始まるエチュード	エチュードの振り返り
7	6月14日	講義・演習	「音」から始まるエチュード	エチュードの振り返り
8	6月21日	講義・演習	「会話」から始まるエチュード	エチュードの振り返り
9	6月28日	講義・演習	「視線」から始まるエチュード	エチュードの振り返り
10	7月5日	講義・演習	空間のイメージ	空間のイメージ復習
11	7月12日	講義・演習	展開を考える	展開を考える復習
12	7月19日	講義・演習	ショートストーリーの起承転結	起承転結の振り返り
13	8月23日	講義・演習	キャラクター作り	キャラクターの振り返り
14	8月30日	講義・演習	イベント実践を通して表現を学ぶ	レポート作成
15	9月6日	講義・演習	イベント実践を通して表現を学ぶ	レポート作成
準備学習　時間外学習			日常の生活に興味を持つ	

【使用教科書・教材・参考書】

運動しやすい服装と靴

科目名	エチュード(2)	必修選択	選択	年次	1	担当教員	大友恵理
学科・コース	ダンス＆アクターズ科(昼間部2)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30（2単位）		
教員の略歴	92年劇団都市彦に入団。以降1998年の解散までの全作品に出演。その後舞台、CM,映画、司会など多数出演。						
授業の学習内容	エチュードを通して、瞬発力と応用力を養っていく						
到達目標	「テーマ」に対して、アクションやリアクションを瞬時に取ることができる 相手の想像力を引き出す力を身につけることができる						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月4日	講義・演習	演技しないでいること	今日の振り返り
2	10月11日	講義・演習	言葉を使ったエチュード	今日の振り返り
3	10月18日	講義・演習	言葉を使わないエチュード	今日の振り返り
4	10月25日	講義・演習	自己発見と他己発見	今日の振り返り
5	11月1日	講義・演習	言葉重視のエチュード	今日の振り返り
6	11月8日	講義・演習	身体の動き重視のエチュード	今日の振り返り
7	11月15日	講義・演習	感情重視のエチュード	今日の振り返り
8	11月22日	講義・演習	多人数で演技することに慣れる	今日の振り返り
9	11月29日	講義・演習	多人数で演技することに慣れる	今日の振り返り
10	12月6日	講義・演習	仲間と一緒にストーリーを展開させる	今日の振り返り
11	12月13日	講義・演習	仲間と一緒にストーリーを展開させる	今日の振り返り
12	12月20日	講義・演習	観客の想像力にゆだねる	今日の振り返り
13	1月10日	講義・演習	観客の想像力にゆだねる	一年間の振り返り
14	1月17日	講義・演習	イベント実践を通して表現を学ぶ	レポート作成
15	1月31日	講義・演習	イベント実践を通して表現を学ぶ	レポート作成
準備学習　時間外学習			視野を広げて観察する	

【使用教科書・教材・参考書】

運動しやすい服装と靴

科目名	オーディション対策(1)	必修選択	選択	年次	1	担当教員	実由
学科・コース	ダンス＆アクターズ科(昼間部2)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30（2単位）		
教員の略歴	DJ,MC、ナレーター、TV、バラエティー、ドラマ、舞台、雑誌、CMへの出演などマルチに活動						
授業の学習内容	卒業後の進路となる各プロダクションへ所属するため、また様々な作品へ出演するためのオーディションを受ける際のマナーや服装、メイクなどを学ぶ。また、プロフィールシートの作り方やオーディションでもっとも大事とされる自己PRをそれぞれの個性を活かし指導。各種オーディションで、自分の個性や持っている力を発揮し、合格出来るポイントを学ぶ。□						
到達目標	自分の個性や特徴を知り、自信を持ってオーディションに臨み、自分PR出来るようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月19日	講義・演習	授業説明	授業振り返り
2	5月10日	講義・演習	プロフィールシートの作り方	特になし
3	5月17日	講義・演習	服装やメイクのアドバイス	プロフィールシート作成
4	5月24日	講義・演習	宣材写真アドバイス	衣装・メイクの用意
5	5月31日	講義・演習	自己PR30秒の作り方	自己PRを作ってくる
6	6月7日	講義・演習	自己PR30秒の作り方	自己PRを作ってくる
7	6月14日	講義・演習	自己PR30秒の作り方	自己PRを作ってくる
8	6月21日	講義・演習	自己PR60秒の作り方	自己PRを作ってくる
9	6月28日	講義・演習	自己PR60秒の作り方	自己PRを作ってくる
10	7月5日	講義・演習	自己PR60秒の作り方	自己PRを作ってくる
11	7月12日	講義・演習	自己PR60秒の作り方	自己PRを作ってくる
12	7月19日	講義・演習	自己PR60秒の作り方	自己PRを作ってくる
13	8月23日	講義・演習	テスト	テスト振り返り
14	8月30日	講義・演習	イベント実践を通して表現を学ぶ	レポート作成
15	9月6日	講義・演習	イベント実践を通して表現を学ぶ	レポート作成
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	オーディション対策(2)	必修選択	選択	年次	1	担当教員	実由
学科・コース	ダンス＆アクターズ科(昼間部2)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30（2単位）		
教員の略歴	DJ,MC、ナレーター、TV、バラエティー、ドラマ、舞台、雑誌、CMへの出演などマルチに活動						
授業の学習内容	卒業後の進路となる各プロダクションへ所属するため、また様々な作品へ出演するためのオーディションを受ける際のマナーや服装、メイクなどを学ぶ。また、プロフィールシートの作り方やオーディションでもっとも大事とされる自己PRをそれぞれの個性を活かし指導。各種オーディションで、自分の個性や持っている力を発揮し、合格出来るポイントを学ぶ。						
到達目標	自分の個性や特徴を知り、自信を持ってオーディションに臨み、自分PR出来るようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月4日	講義・演習	プロフィールシート見直し	プロフィールシートの内容を見直す
2	10月11日	講義・演習	模擬オーディションCM	それぞれのオーディションに適した自己PRや服装準備
3	10月18日	講義・演習	模擬オーディションCM	それぞれのオーディションに適した自己PRや服装準備
4	10月25日	講義・演習	模擬オーディションテレビドラマ	それぞれのオーディションに適した自己PRや服装準備
5	11月1日	講義・演習	模擬オーディションテレビドラマ	それぞれのオーディションに適した自己PRや服装準備
6	11月8日	講義・演習	模擬オーディション映画	それぞれのオーディションに適した自己PRや服装準備
7	11月15日	講義・演習	模擬オーディション映画	それぞれのオーディションに適した自己PRや服装準備
8	11月22日	講義・演習	模擬オーディション舞台	それぞれのオーディションに適した自己PRや服装準備
9	11月29日	講義・演習	模擬オーディションアニメ	それぞれのオーディションに適した自己PRや服装準備
10	12月6日	講義・演習	新人発掘に向けてのパフォーマンス作り	それぞれのオーディションに適した自己PRや服装準備
11	12月13日	講義・演習	新人発掘に向けてのパフォーマンス作り	それぞれのオーディションに適した自己PRや服装準備
12	12月20日	講義・演習	新人発掘に向けてのパフォーマンス作り	それぞれのオーディションに適した自己PRや服装準備
13	1月10日	講義・演習	テスト	テスト振り返り
14	1月17日	講義・演習	イベント実践を通して表現を学ぶ	レポート作成
15	1月31日	講義・演習	イベント実践を通して表現を学ぶ	レポート作成
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	アクション基礎(1)	必修選択	選択	年次	1	担当教員	所博昭
学科・コース	ダンス＆アクターズ科(昼間部1)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30（2単位）		
教員の略歴	2017映画「アウトレイジ 最終章」技斗、「相棒」シリーズ技斗、「刑事七人」シリーズ技斗、2020「刑事七人シーズン6episode1」杉野正役、その他多数□						
授業の学習内容	立ちっぱなし、座りっぱなしで演技は出来ません。突飛ばされたりや転び等の動きを怪我無く繰り返し演じる事ができるようになるためにマットを使って転がり方から身の守り方である各種の受け身を身につけていく。						
到達目標	倒れる、倒す演技を安全克つ臨場感を出しつつ演じる事がで出来る様になる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月21日	講義・演習	自己紹介、注意事項説明、アクションとは…を理解する、でんぐり返しをする	アクション映像(アニメ、動画を含む)鑑賞して予習
2	4月28日	講義・演習	前転が出来る	アクション映像(アニメ、動画を含む)鑑賞して予習、前週の復習
3	5月12日	講義・演習	右起き上がりが出来る	アクション映像(アニメ、動画を含む)鑑賞して予習、前週の復習
4	5月19日	講義・演習	左起き上がりが出来る	アクション映像(アニメ、動画を含む)鑑賞して予習、前週の復習
5	5月26日	講義・演習	右受け身が出来る	アクション映像(アニメ、動画を含む)鑑賞して予習、前週の復習
6	6月2日	講義・演習	左受け身が出来る	アクション映像(アニメ、動画を含む)鑑賞して予習、前週の復習□
7	6月9日	講義・演習	横転が出来る	アクション映像(アニメ、動画を含む)鑑賞して予習、前週の復習
8	6月16日	講義・演習	投げると投げられるが出来る	アクション映像(アニメ、動画を含む)鑑賞して予習、前週の復習
9	6月23日	講義・演習	崩れ落ちる事が出来る	アクション映像(アニメ、動画を含む)鑑賞して予習、前週の復習
10	6月30日	講義・演習	後ろに倒れる事が出来る	アクション映像(アニメ、動画を含む)鑑賞して予習、前週の復習
11	7月7日	講義・演習	アクション後転が出来る	アクション映像(アニメ、動画を含む)鑑賞して予習、前週の復習
12	7月14日	講義・演習	二人で縫れ合ったまま転がる事が出来る	アクション映像(アニメ、動画を含む)鑑賞して予習、前週の復習
13	8月25日	講義・演習	寸劇を実演出来る	アクション映像(アニメ、動画を含む)鑑賞して予習、前週の復習
14	9月1日	講義・演習	イベント実践を通して表現を学ぶ	レポート作成
15	9月8日	講義・演習	イベント実践を通して表現を学ぶ	レポート作成
準備学習　時間外学習			現代劇での倒れる、倒される、転ぶ等の動きを映像を観て俳優の動きをイメージトレーニングする。	

【使用教科書・教材・参考書】

映画、TVドラマ、舞台、アニメ、動画、漫画等視覚で研究出来る物。

科目名	アクション基礎(2)	必修選択	選択	年次	1	担当教員	所博昭
学科・コース	ダンス＆アクターズ科(昼間部1)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30（2単位）		
教員の略歴	2017映画「アウトレイジ 最終章」技斗、「相棒」シリーズ技斗、「刑事七人」シリーズ技斗、2020「刑事七人シーズン6episode1」杉野正役、その他多数						
授業の学習内容	″アクション〝とは本来(行動、動作)を意味する英単語ですが、日本の演劇界、映画界等では暴力全般を指します。 一口に暴力と言っても、殴る、蹴る、極める、投げる、切る、撃つ、等多義に渡り、役(キャラクター)によってもその行動内容は全く変わってしまいます。 前半は主な素手での殴り、蹴り、其に伴うリアクションを、後半は木刀を使って時代劇における刀を刃物としながらも安全に扱う方法と距離感を学びます。						
到達目標	暴力と痛みを表現する為に必要な技術と演技、木刀を刃物として扱う技術と演技を身につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	拳の作り方、構え、足運びが出来る	アクション映像(アニメ、動画を含む)鑑賞して予習、前週の復習
2	10月13日	講義・演習	殴り(顔)、リアクション(顔)が出来る	アクション映像(アニメ、動画を含む)鑑賞して予習、前週の復習
3	10月20日	講義・演習	殴り(腹)、リアクション(腹)が出来る	アクション映像(アニメ、動画を含む)鑑賞して予習、前週の復習
4	10月27日	講義・演習	空手の防御(上段受け、内受け、外受け、下段受け)が出来る	アクション映像(アニメ、動画を含む)鑑賞して予習、前週の復習
5	11月3日	講義・演習	攻撃のかわし方(さばき、ダッキング)が出来る	アクション映像(アニメ、動画を含む)鑑賞して予習、前週の復習
6	11月17日	講義・演習	前蹴り、蹴り上げ、回し蹴りが出来る	アクション映像(アニメ、動画を含む)鑑賞して予習、前週の復習
7	11月24日	講義・演習	帯の結び方、抜刀、正眼、納刀が出来る	時代劇映像(アニメ、動画を含む)鑑賞して予習
8	12月1日	講義・演習	素振り1 (面、左右面、袈裟斬り)が出来る	時代劇映像(アニメ、動画を含む)鑑賞して予習、前週の復習
9	12月8日	講義・演習	素振り2 (抜き胴、突き、真っ向)が出来る	時代劇映像(アニメ、動画を含む)鑑賞して予習、前週の復習
10	12月15日	講義・演習	打ち込み、振り返り3種が出来る	時代劇映像(アニメ、動画を含む)鑑賞して予習、前週の復習
11	1月12日	講義・演習	剣を払われる(右、左)事が出来る	時代劇映像(アニメ、動画を含む)鑑賞して予習、前週の復習
12	1月19日	講義・演習	剣を払われると剣を払う事が出来る	時代劇映像(アニメ、動画を含む)鑑賞して予習、前週の復習
13	2月2日	講義・演習	千鳥が出来る	時代劇映像(アニメ、動画を含む)鑑賞して予習、前週の復習
14	2月9日	講義・演習	イベント実践を通して表現を学ぶ	レポート作成
15	2月16日	講義・演習	イベント実践を通して表現を学ぶ	レポート作成
準備学習　時間外学習			アクションは現代劇の映像、時代劇の映像を観て役者の動きをイメージトレーニングする	

【使用教科書・教材・参考書】

映画、TVドラマ、舞台、アニメ、動画、漫画等視覚で研究出来る物。

科目名	声優基礎実習(1)	必修選択	選択	年次	1	担当教員	岩永哲哉
学科・コース	ダンス＆アクターズ科(昼間部2)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30 (2単位)		
教員の略歴	○新世紀エヴァンゲリオン（相田ケンスケ） ○遊☆戯☆王デュエルモンスターズ（マリク・イシュタール） ○魔法少女まどか☆マギカ(鹿目知久) ○忍たま乱太郎（鬼蜘蛛丸） ○ツバサ・クロニクル（蒼石）○ビーストウォーズ 超生命体トランスフォーマー（エアラザー）□						
授業の学習内容	マイクテクニック実習						
到達目標	マイク前で緊張せずに表現する						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月21日	講義・演習	自己紹介。授業説明	説明確認
2	4月28日	講義・演習	外郎りを収録確認	滑舌練習
3	5月12日	講義・演習	外郎りを収録確認	滑舌練習
4	5月19日	講義・演習	外郎りを収録確認	滑舌練習
5	5月26日	講義・演習	外郎りを収録確認	滑舌練習
6	6月2日	講義・演習	外郎りを収録確認	滑舌練習
7	6月9日	講義・演習	外郎りを収録確認	滑舌練習
8	6月16日	講義・演習	外郎りを収録確認	滑舌練習
9	6月23日	講義・演習	外郎りを収録確認	滑舌練習
10	6月30日	講義・演習	外郎りを収録確認	滑舌練習
11	7月7日	講義・演習	外郎りを収録確認	滑舌練習
12	7月14日	講義・演習	外郎りを収録確認	滑舌練習
13	8月25日	講義・演習	テスト	課題練習
14	9月1日	講義・演習	イベント実践を通して表現を学ぶ	レポート作成
15	9月8日	講義・演習	イベント実践を通して表現を学ぶ	レポート作成
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	声優基礎実習(2)	必修選択	選択	年次	1	担当教員	岩永哲哉
学科・コース	ダンス＆アクターズ科(昼間部2)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30 (2単位)		
教員の略歴	○新世紀エヴァンゲリオン（相田ケンスケ） ○遊☆戯☆王デュエルモンスターズ（マリク・イシュタール） ○魔法少女まどか☆マギカ(鹿目知久) ○忍たま乱太郎（鬼蜘蛛丸） ○ツバサ・クロニクル（蒼石）○ビーストウォーズ 超生命体トランスフォーマー（エアラザー）□						
授業の学習内容	マイク前での表現収録						
到達目標	マイクの前で自分らしい表現をする						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	ボイサン対策	原稿用意
2	10月13日	講義・演習	ボイサン対策	ボイサン練習
3	10月20日	講義・演習	ボイサン対策	ボイサン練習
4	10月27日	講義・演習	ボイサン対策	ボイサン練習
5	11月3日	講義・演習	朗読収録	朗読練習
6	11月17日	講義・演習	朗読収録	朗読練習
7	11月24日	講義・演習	朗読収録	朗読練習
8	12月1日	講義・演習	朗読収録	朗読練習
9	12月8日	講義・演習	朗読収録	朗読練習
10	12月15日	講義・演習	朗読収録	朗読練習
11	1月12日	講義・演習	朗読収録	朗読練習
12	1月19日	講義・演習	朗読朱録	課題練習
13	2月2日	講義・演習	テスト	課題練習
14	2月9日	講義・演習	イベント実践を通して表現を学ぶ	レポート作成
15	2月16日	講義・演習	イベント実践を通して表現を学ぶ	レポート作成
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	舞踊舞台史・脚本解釈(1)	必修選択	選択	年次	1	担当教員	石橋祐
学科・コース	ダンス＆アクターズ科(昼間部2)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30 (2単位)		
教員の略歴	日本大学芸術学部　演劇学科演技コース卒業、在学中より劇団ショーマのメンバーとして活動。NWS,トップコート、を経て現在レ・ブリアン所属俳優。多数の 舞台公演、映画、テレビドラマ、 CMに出演。						
授業の学習内容	今日の演劇・映画他のエンターテイメントがどのように形成されてきたのか、その歴史を学ぶことは、俳優・声優をはじめエ ンターテイメントの世界を目指す受講生にとって、とても重要なことであると考えます。舞台芸術の歴史を 時代性・社会性とともにとらえ、代表的な作家、作品を紹介していくと同時に、それぞれの名作と言われる脚 本を取り上げ実際に読み進めることにより、脚本の読解力を高め、演技者としての創造的インテリジェンスを獲得するのを目的とします。						
到達目標	古今東西の芸能の歴史・先人達の演劇的叡智に触れ、学ぶことにより、受講生のこれからの舞台創造、演技的創造に生 かせる知識を獲得することを目標とします。 さらに、昨今、若年層の読書量が減っていると言われています。台本、脚本を読み理解することで、文学、物語の理解を深 めていくことを目指します。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月19日	講義・演習	ガイダンス「なぜ歴史を学ぶのか？～それぞれの時代の社会の鏡としての舞台芸術」	講義のポイントをノートし復習しておくこと
2	5月10日	講義・演習	演劇の起源～古代ギリシャ ～演劇・舞台芸術の形態と特徴～	講義のポイントをノートし復習しておくこと
3	5月17日	講義・演習	シェイクスピアの登場。その時代の演劇・舞台芸術の形態と特徴	講義のポイントをノートし復習しておくこと
4	5月24日	講義・演習	シェイクスピア劇に触れる①「ロミオとジュリエット」	テキストを熟読し、予習復習し理解を深めておく
5	5月31日	講義・演習	シェイクスピア劇に触れる②「ロミオとジュリエット」	テキストを熟読し、予習復習し理解を深めておく
6	6月7日	講義・演習	シェイクスピア劇に触れる③「ロミオとジュリエット」	テキストを熟読し、予習復習し理解を深めておく
7	6月14日	講義・演習	シェイクスピア劇に触れる④「ロミオとジュリエット」	テキストを熟読し、予習復習し理解を深めておく
8	6月21日	講義・演習	シェイクスピア劇に触れる⑤「ロミオとジュリエット」	テキストを熟読し、予習復習し理解を深めておく
9	6月28日	講義・演習	日本の伝統芸、日本の中世の演劇形態‥ 能・狂言の発生	講義のポイントをノートし復習しておくこと
10	7月5日	講義・演習	歌舞伎　文楽の歴史と形態①歌舞伎の登場・変遷	講義のポイントをノートし復習しておくこと
11	7月12日	講義・演習	歌舞伎　文楽の歴史と形態②歌舞伎の名作紹介Ⅰ	講義のポイントをノートし復習しておくこと
12	7月19日	講義・演習	歌舞伎　文楽の歴史と形態③歌舞伎の名作紹介Ⅱ	講義のポイントをノートし復習しておくこと
13	8月23日	講義・演習	前期まとめ。古代から中世の舞台芸術を振り返る。	講義のポイントをノートし復習しておくこと
14	8月30日	講義・演習	イベント実践を通して表現を学ぶ	レポート作成
15	9月6日	講義・演習	イベント実践を通して表現を学ぶ	レポート作成
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

舞台舞踊史教科書　講師作成参考資料　等

科目名	舞踊舞台史・脚本解釈(2)	必修選択	選択	年次	1	担当教員	石橋祐
学科・コース	ダンス＆アクターズ科(昼間部2)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30 (2単位)		
教員の略歴	日本大学芸術学部　演劇学科演技コース卒業、在学中より劇団ショーマのメンバーとして活動。NWS,トップコート、を経て現在レ・ブリアン所属俳優。多数の 舞台公演、映画、テレビドラマ、 CMに出演。						
授業の学習内容	今日の演劇・映画他のエンターテイメントがどのように形成されてきたのか、その歴史を学ぶことは、俳優・声優をはじめエ ンターテイメントの世界を目指す受講生にとって、とても重要なことであると考えます。演劇・舞踊などの舞台芸術の歴史を 時代性・社会性と舞台芸術の成り立ちと特徴、代表的な作家、作品を紹介していくと同時に、それぞれの名作と言われる脚 本を取り上げ実際に読み進めることにより、脚本の読解力を高め、演技者としての創造的インテリジェンスを獲得するのを 目的とします。						
到達目標	古今東西の芸能の歴史・先人達の演劇的叡智に触れ、学ぶことにより、受講生のこれからの舞台創造、演技的創造に生 かせる知識を獲得することを目標とします。 さらに昨今、若年層の読書量が減っていると言われています。台本、脚本を読み理解することで、文学、物語の理解を深 めていくことを目指します。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月2日	講義・演習	近代劇Ⅰ イプセンとチェーホフ　様々な劇作家たち①	講義のポイントをノートし復習しておくこと
2	10月9日	講義・演習	近代劇Ⅰ イプセンとチェーホフ　様々な劇作家たち②	講義のポイントをノートし復習しておくこと
3	10月16日	講義・演習	チェーホフ「三人姉妹」	テキストを熟読し、予習復習し理解を深めておく
4	10月23日	講義・演習	チェーホフ「三人姉妹」	テキストを熟読し、予習復習し理解を深めておく
5	10月30日	講義・演習	チェーホフ「三人姉妹」	テキストを熟読し、予習復習し理解を深めておく
6	11月6日	講義・演習	近代劇Ⅲ アメリカ演劇史1　ブロードウェイ演劇	講義のポイントをノートし復習しておくこと
7	11月13日	講義・演習	近代劇Ⅲアメリカ演劇史Ⅱ アメリカのミュージカルの流行	講義のポイントをノートし復習しておくこと
8	11月20日	講義・演習	近代劇Ⅲアメリカ演劇史Ⅲ　ハリウッド映画の発生	講義のポイントをノートし復習しておくこと
9	11月27日	講義・演習	日本近代演 劇史Ⅰ　ヨー ロッパ文化の 流入	講義のポイントをノートし復習しておくこと
10	12月4日	講義・演習	日本近代演劇史～日本文学・演劇の流れ。 日本映画～テレビ文化へ	講義のポイントをノートし復習しておくこと
11	12月11日	講義・演習	日本現代演劇Ⅲアングラ演劇 小劇場演劇の時代～新たな劇的エネルギ−～	講義のポイントをノートし復習しておくこと
12	12月18日	講義・演習	日本現代演劇現代演劇事情	講義のポイントをノートし復習しておくこと
13	1月15日	講義・演習	後期講義を振り返って 「舞台芸術の将来」	講義のポイントをノートし復習しておくこと
14	1月29日	講義・演習	イベント実践を通して表現を学ぶ	レポート作成
15	2月5日	講義・演習	イベント実践を通して表現を学ぶ	レポート作成
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

舞台舞踊史教科書　講師作成参考資料　等

科目名	Basic Keyboard(1)	必修選択	選択	年次	1	担当教員	加藤エレナ
学科・コース	ダンス＆アクターズ科(昼間部2)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30（2単位）		
教員の略歴	キーボーディストとして30年。						
授業の学習内容	歌唱、演奏、作編曲、プロデューサー、エンジニア、プログラミング等、デジタル音楽が一層発展する中で、よく使用されるキーボードの基礎を学び、発声練習、弾き歌い、作編曲等で必要な深い知識や、自由度の高い音楽性、表現方法を身につけていく。						
到達目標	・譜面の読み書きができる様になる。・コードの基礎を学び、様々なコード進行を両手で弾ける様になる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月21日	講義・演習	フォーム、演奏前の基礎知識を学ぶ。	指番号、音名、音符について予習、復習。
2	4月28日	講義・演習	クロマチック、音階、音程、練習方法を学ぶ。	授業の復習、M3rd,m3rdについて予習。
3	5月12日	講義・演習	ダイアトニックコード、運指トレーニング方法を学ぶ。	音程の感覚を復習、練習。
4	5月19日	講義・演習	M,mコード、転回形、ディグリーについて学ぶ。	コードの仕組みを復習、練習。
5	5月26日	講義・演習	Ⅰ―Ⅳ―Ⅴ―Ⅰ、Ⅰ―Ⅴ―Ⅳ―Ⅰ、Ⅳ―Ⅰ―Ⅴ―Ⅰ、Ⅴ―	T、SD,Dの機能を復習、練習。
6	6月2日	講義・演習	7th、Ⅱm―Ⅴ7―Ⅰ、Ⅰ―Ⅳ―Ⅱm―Ⅴ7―Ⅰの動きを学ぶ	音の動き（Ⅱ,Ⅴ,Ⅰ）の感覚を復習、練習。
7	6月9日	講義・演習	Ⅵm、ⅥMが入ったコードワークを学ぶ。	ⅠとⅥmの感覚とコードの仕組みを復習、練習。
8	6月16日	講義・演習	Ⅲm、ⅢMが入ったコードワークを学ぶ。	ⅠとⅢmの感覚とコードの仕組みを復習、練習。
9	6月23日	講義・演習	4和音について学ぶ。	コードの仕組みを復習、練習。
10	6月30日	講義・演習	m7♭5、dim、aug、クリシェ進行を学ぶ。	コードの仕組み、フォームの復習と練習。
11	7月7日	講義・演習	sus4、add9、7sus4ドミナントの置き換えを学ぶ。	コードの仕組み、フォームの復習と練習。
12	7月14日	講義・演習	作曲、メロディー、リズムの仕組みについて学ぶ。	自由に作曲してみる。試験の準備。
13	8月25日	講義・演習	試験、アドバイス	試験、アドバイスの復習。イベント準備。
14	9月1日	講義・演習	イベント実践を通してアンサンブルを学ぶ。	実践を通して得た感覚を今後に活かせる準備と練習。
15	9月8日	講義・演習	イベント実践を通して客観的感覚、仕組みを学ぶ。	実践を通して得た感覚を今後に活かせる準備と練習。
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

配布プリント、イヤホン、筆記用具を持参する事。

科目名	Basic Keyboard(2)	必修選択	選択	年次	1	担当教員	加藤エレナ
学科・コース	ダンス＆アクターズ科(昼間部2)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30（2単位）		
教員の略歴	キーボーディストとして30年。						
授業の学習内容	歌唱、演奏、作編曲、プロデューサー、エンジニア、プログラミング等、デジタル音楽が一層発展する中で、よく使用されるキーボードの基礎を学び、発声練習、弾き歌い、作編曲等で必要な深い知識や、自由度の高い音楽性、表現方法を身につけていく。						
到達目標	コードの基礎を学び、様々なコード進行を両手で弾ける様になり、作曲や弾き歌いができる様になる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	マイナースケールとダイアトニックコード。	復習、転回形での練習。
2	10月13日	講義・演習	Ｉｍ―Ⅳｍ―Ｖ―Ｉからの発展コードワークを学ぶ。	復習、転回形での練習。
3	10月20日	講義・演習	曲①構成を理解して抑揚をつける。応用。	復習、メロディーを歌い練習してみる。
4	10月27日	講義・演習	左手のベースラインの動かし方。シンコペーション。	復習、パラディドル練習。
5	11月3日	講義・演習	細かい表現方法を学ぶ。オブリガード。	復習、曲を聞いて練習。
6	11月17日	講義・演習	曲②オンコードの演奏方法を学ぶ。	復習、メロディーを歌い練習してみる。
7	11月24日	講義・演習	左手のベースラインと右手のポジション	復習、各Keyで対応できるように理解して練習。
8	12月1日	講義・演習	細かい表現方法を学ぶ。アクセント、音の長さ。	復習、曲を聞いて練習。
9	12月8日	講義・演習	曲③イントロ、エンディングの付け方。	復習、メロディーを歌い練習してみる。
10	12月15日	講義・演習	ペダルの効果的な使い方、細かいテクニック	復習、曲を聞いて練習。
11	1月12日	講義・演習	弾き歌いのコツや聞かせ方。	復習、録音をして聞き返すなどの客観的練習。
12	1月19日	講義・演習	作曲して伴奏。ハーモニー、リズム、表現方法。	総復習。
13	2月2日	講義・演習	試験、アドバイス	復習。イベントの準備。
14	2月9日	講義・演習	イベント実践を通してライブで必要な応用力を学ぶ。	実践を通して得た感覚を今後に活かせる準備と練習。
15	2月16日	講義・演習	イベント実践を通してライブで必要な応用力を学ぶ。	実践を通して得た感覚を今後に活かせる準備と練習。
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

配布プリント、イヤホン、筆記用具を持参する事。

科目名	声優総合実習(3)	必修選択	選択必修	年次	2	担当教員	岩永哲哉
学科・コース	ダンス＆アクターズ科(昼間部2)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30（2単位）		
教員の略歴	○新世紀エヴァンゲリオン（相田ケンスケ） ○遊☆戯☆王デュエルモンスターズ（マリク・イシュタール） ○魔法少女まどか☆マギカ(鹿目知久) ○忍たま乱太郎（鬼蜘蛛丸） ○ツバサ・クロニクル（蒼石）○ビーストウォーズ 超生命体トランスフォーマー（エアラザー）□						
授業の学習内容	ボイスサンプル実習。朗読。アフレコ。オーディション対策。						
到達目標	プロダクションへの所属、準所属。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月21日	講義・演習	授業内容の説明。1年時ボイサンの反省と対策。	反省を振り返り、今後の取り組みを考える
2	4月28日	講義・演習	ヴォイサン練習。	ヴォイスサンプルのための練習
3	5月12日	講義・演習	ヴォイサン練習。	ヴォイスサンプルのための練習
4	5月19日	講義・演習	ヴォイサン練習。	ヴォイスサンプルのための練習
5	5月26日	講義・演習	ヴォイサン練習。	ヴォイスサンプルのための練習
6	6月2日	講義・演習	朗読劇台本の練習。アフレコ。オーディション対策。	朗読台本の練習
7	6月9日	講義・演習	朗読劇台本の練習。アフレコ。オーディション対策。	朗読台本の練習
8	6月16日	講義・演習	朗読劇台本の練習。アフレコ。オーディション対策。	オーディション対策練習
9	6月23日	講義・演習	朗読劇台本の練習。アフレコ。オーディション対策。	オーディション対策練習
10	6月30日	講義・演習	朗読劇台本の練習。アフレコ。オーディション対策。	オーディション対策練習
11	7月7日	講義・演習	朗読劇台本の練習。アフレコ。オーディション対策。	オーディション対策練習
12	7月14日	講義・演習	朗読劇台本の練習。アフレコ。オーディション対策。	オーディション対策練習
13	8月25日	講義・演習	朗読劇台本の練習。アフレコ。オーディション対策。	オーディション対策練習
14	9月1日	講義・演習	イベント実践を通して表現を学ぶ	レポート作成
15	9月8日	講義・演習	イベント実践を通して表現を学ぶ	レポート作成
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	声優総合実習(4)	必修選択	選択必修	年次	2	担当教員	岩永哲哉
学科・コース	ダンス＆アクターズ科(昼間部2)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30（2単位）		
教員の略歴	○新世紀エヴァンゲリオン（相田ケンスケ） ○遊☆戯☆王デュエルモンスターズ（マリク・イシュタール） ○魔法少女まどか☆マギカ(鹿目知久) ○忍たま乱太郎（鬼蜘蛛丸） ○ツバサ・クロニクル（蒼石）○ビーストウォーズ 超生命体トランスフォーマー（エアラザー）□						
授業の学習内容	ボイスサンプル実習。朗読。アフレコ。オーディション対策。						
到達目標	プロダクションへの所属、準所属。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	ヴォイサン練習。	ヴォイスサンプルの原稿を作成
2	10月13日	講義・演習	ヴォイサン練習。	ヴォイスサンプルの練習
3	10月20日	講義・演習	ヴォイサン練習。	ヴォイスサンプルの練習
4	10月27日	講義・演習	ヴォイサン練習。	ヴォイスサンプルの練習
5	11月3日	講義・演習	朗読劇台本の練習。アフレコ。オーディション対策。	朗読台本の練習
6	11月17日	講義・演習	朗読劇台本の練習。アフレコ。オーディション対策。	朗読台本の練習
7	11月24日	講義・演習	朗読劇台本の練習。アフレコ。オーディション対策。	朗読台本の練習朗
8	12月1日	講義・演習	朗読劇台本の練習。アフレコ。オーディション対策。	オーディション対策準備
9	12月8日	講義・演習	朗読劇台本の練習。アフレコ。オーディション対策。	オーディション対策準備
10	12月15日	講義・演習	朗読劇台本の練習。アフレコ。オーディション対策。	オーディション対策準備
11	1月12日	講義・演習	朗読劇台本の練習。アフレコ。オーディション対策。	オーディション対策準備
12	1月19日	講義・演習	朗読劇台本の練習。アフレコ。オーディション対策。	オーディション対策準備
13	2月2日	講義・演習	朗読劇台本の練習。アフレコ。オーディション対策。	オーディション対策準備
14	2月9日	講義・演習	イベント実践を通して表現を学ぶ	レポート作成
15	2月16日	講義・演習	イベント実践を通して表現を学ぶ	レポート作成
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	MC・レポーター実習(3)	必修選択	選択必修	年次	2	担当教員	実由
学科・コース	ダンス＆アクターズ科(昼間部2)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30（2単位）		
教員の略歴	DJ,MC、ナレーター、TV、バラエティー、ドラマ、舞台、雑誌、CMへの出演などマルチに活動						
授業の学習内容	タレントとしてバラエティー番組などで必要とされるトーク（フリートーク・レポート・番宣告知など） イベントステージでのMC、ラジオDJ、それぞれのトークのポイントやテクニックを学ぶ						
到達目標	役者として演技だけではなく様々なシーンで活躍できる技術を見につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月19日	講義・演習	授業説明	授業振り返り
2	5月10日	講義・演習	フリートーク　アイテム紹介 （3分）	3分間のトーク内容を作る
3	5月17日	講義・演習	フリートーク　アイテム紹介 （3分）	3分間のトーク内容を作る
4	5月24日	講義・演習	フリートーク　作品紹介 （3分）	3分間のトーク内容を作る
5	5月31日	講義・演習	フリートーク　作品紹介 （3分）	3分間のトーク内容を作る
6	6月7日	講義・演習	告知 番宣トーク（グループ5分）	作品のあらすじや番組内容等情報収集
7	6月14日	講義・演習	告知 番宣トーク（グループ5分）	作品のあらすじや番組内容等情報収集
8	6月21日	講義・演習	ラジオフリートーク	新聞やネットニュースから事情ネタを収集
9	6月28日	講義・演習	ラジオフリートーク	新聞やネットニュースから事情ネタを収集
10	7月5日	講義・演習	ラジオフリートーク	新聞やネットニュースから事情ネタを収集
11	7月12日	講義・演習	インタビュー	インタビューする相手の情報の下調べ
12	7月19日	講義・演習	インタビュー	インタビューする相手の情報の下調べ
13	8月23日	講義・演習	テスト	テスト振り返り
14	8月30日	講義・演習	イベント実践を通して表現を学ぶ	レポート作成
15	9月6日	講義・演習	イベント実践を通して表現を学ぶ	レポート作成
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	MC・レポーター実習（4）	必修選択	選択必修	年次	2	担当教員	実由
学科・コース	ダンス＆アクターズ科(昼間部2)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30（2単位）		
教員の略歴	DJ,MC、ナレーター、TV、バラエティー、ドラマ、舞台、雑誌、CMへの出演などマルチに活動						
授業の学習内容	タレントとしてバラエティー番組などで必要とされるトーク（フリートーク・レポート・番宣告知など） イベントステージでのMC、ラジオDJ、それぞれのトークのポイントやテクニックを学ぶ						
到達目標	役者として演技だけではなく様々なシーンで活躍できる技術を見につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月4日	講義・演習	レポート演習(自分の生まれ育った街をレポート)	レポートする場所の情報などを収集
2	10月11日	講義・演習	レポート演習(自分の生まれ育った街をレポート)	アドバイスを踏まえて、作り直す
3	10月18日	講義・演習	レポート演習(自分の生まれ育った街をレポート)	アドバイスを踏まえて、作り直す
4	10月25日	講義・演習	レポート演習(街のイベントなどをレポート)	レポートする場所の情報などを収集
5	11月1日	講義・演習	レポート演習(街のイベントなどをレポート)	アドバイスを踏まえて、作り直す
6	11月8日	講義・演習	レポート演習(街のイベントなどをレポート)	アドバイスを踏まえて、作り直す
7	11月15日	講義・演習	MC演習 (ライブなどのイベント)	台本の読み込みやフリートークのネタを収集
8	11月22日	講義・演習	MC演習 (ライブなどのイベント)	台本の読み込みやフリートークのネタを収集
9	11月29日	講義・演習	MC演習 (ライブなどのイベント)	台本の読み込みやフリートークのネタを収集
10	12月6日	講義・演習	MC演習(セレモニー)	台本の読み込みやフリートークのネタを収集
11	12月13日	講義・演習	MC演習(セレモニー)	台本の読み込みやフリートークのネタを収集
12	12月20日	講義・演習	MC演習(セレモニー)	台本の読み込みやフリートークのネタを収集
13	1月10日	講義・演習	テスト	テスト振り返り
14	1月17日	講義・演習	イベント実践を通して表現を学ぶ	レポート作成
15	1月31日	講義・演習	イベント実践を通して表現を学ぶ	レポート作成
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	Actor's JAZZ(3)	必修選択	選択必修	年次	2	担当教員	田島あこ
学科・コース	ダンス＆アクターズ科(昼間部2)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30（2単位）		
教員の略歴	a-nation・及川光博・ASIAN KUNG-FU GENERATION・プリキュアオールスターズ・三森すずこ・上坂すみれ等アーティストバックアップダンサー。ノンスタイルMV・明治安田生命CM出演　私立、公立高校ダンス部指導　ダンススタジオインストラクター						
授業の学習内容	JAZZダンスを通じて、ダンスの楽しさ、身体を動かすことの重要性を知り身につけることによって、現場やオーディションでの対応力、自己表現力を養う。						
到達目標	一年次に身につけた基礎を応用し、技術や自己表現力の向上を目指すとともに個人やチームでの創造性を養う。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月18日	講義・演習	二年次での内容説明 ・ストレッチ・アイソレーション等の基礎練習	ストレッチ
2	5月9日	講義・演習	基礎・クロスフロア	ストレッチ
3	5月16日	講義・演習	アイソレーション・コンビネーション（振り付け）	コンビネーションの復習・練習
4	5月23日	講義・演習	アイソレーション・コンビネーション	コンビネーションの予習・復習・練習
5	5月30日	講義・演習	アイソレーション・コンビネーション	コンビネーションの予習・復習・練習
6	6月6日	講義・演習	アイソレーション・コンビネーション	コンビネーションの予習・復習・練習
7	6月13日	講義・演習	アイソレーション・コンビネーション	コンビネーションの予習・復習・練習
8	6月20日	講義・演習	約4週にわたってテスト課題　コンビネーションを習得	コンビネーションの予習・復習・練習
9	6月27日	講義・演習	約4週にわたってテスト課題　コンビネーションを習得	コンビネーションの予習・復習・練習
10	7月4日	講義・演習	約4週にわたってテスト課題　コンビネーションを習得	コンビネーションの予習・復習・練習
11	7月11日	講義・演習	約4週にわたってテスト課題　コンビネーションを習得	コンビネーションの予習・復習・練習
12	7月18日	講義・演習	テスト内容の説明・課題練習	課題振り返り
13	8月22日	講義・演習	オーディション形式での課題発表	課題発表振り返り
14	8月29日	講義・演習	イベント実践を通して表現を学ぶ	レポート作成
15	9月5日	講義・演習	イベント実践を通して表現を学ぶ	レポート作成
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

運動のできる服装・シューズ・タオル・水分飲料　※ジーンズ等の伸びないボトムスNG　※ストッキングNG

科目名	Actor's JAZZ(4)	必修選択	選択必修	年次	2	担当教員	田島あこ
学科・コース	ダンス＆アクターズ科(昼間部2)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30 (2単位)		
教員の略歴	a-nation・及川光博・ASIAN KUNG-FU GENERATION・プリキュアオールスターズ・三森すずこ・上坂すみれ等アーティストバックアップダンサー。ノンスタイルMV・明治安田生命CM出演　私立、公立高校ダンス部指導　ダンススタジオインストラクター						
授業の学習内容	JAZZダンスを通じて、ダンスの楽しさ、身体を動かすことの重要性を知り身につけることによって、現場やオーディションでの対応力、自己表現力を養う。						
到達目標	一年次に身につけた基礎を応用し、技術や自己表現力の向上を目指すとともに個人やチームでの創造性を養う。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月3日	講義・演習	ストレッチ・アイソレーション等の基礎	ストレッチ
2	10月10日	講義・演習	基礎・クロスフロア	ストレッチ
3	10月17日	講義・演習	コンビネーション	コンビネーションの復習・練習
4	10月24日	講義・演習	コンビネーション	コンビネーションの予習・復習・練習
5	10月31日	講義・演習	アイソレーションの応用・コンビネーション	コンビネーションの予習・復習・練習
6	11月7日	講義・演習	アイソレーションの応用・コンビネーション	コンビネーションの予習・復習・練習
7	11月14日	講義・演習	アイソレーションの応用・コンビネーション	コンビネーションの予習・復習・練習
8	11月21日	講義・演習	約4週にわたってテスト課題のコンビネーションを習得	課題の復習・練習
9	11月28日	講義・演習	約4週にわたってテスト課題のコンビネーションを習得	課題の予習・復習・練習
10	12月5日	講義・演習	約4週にわたってテスト課題のコンビネーションを習得	課題の予習・復習・練習
11	12月12日	講義・演習	約4週にわたってテスト課題のコンビネーションを習得	課題の予習・復習・練習
12	12月19日	講義・演習	課題練習	課題の予習・復習・練習
13	1月9日	講義・演習	オーディション形式での課題発表	課題発表振り返り
14	1月16日	講義・演習	イベント実践を通して表現を学ぶ	レポート作成
15	1月30日	講義・演習	イベント実践を通して表現を学ぶ	レポート作成
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

運動のできる服装・シューズ・タオル・水分飲料　※ジーンズ等の伸びないボトムスNG　※ストッキングNG

科目名	声優業界実習(3)	必修選択	選択必修	年次	2	担当教員	大塚智則
学科・コース	ダンス＆アクターズ科(昼間部2)	授業形態	講義・演習	総時間(単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	声優歴は17年、現在1700本以上に出演。外国映画、ドラマの音響ディレクターも兼任。						
授業の学習内容	実際の収録台本と映像を軸に実際の収録状況を模擬再現し、スタジオ入りからマイクワークまでの基本ルールや情報を共有、意見交換を通して自主性を図り、プロとしての個々の基本姿勢を細かく指導。						
到達目標	声優表現においての各種収録を想定し、マイクに立つ前の心構えやインサイドワークの実践演習を実施。プロの表現者としての姿勢や気概を身につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月20日	講義・演習	1分の自己紹介(自分なりのセールスポイントの発表)	自己アピールの考察(肯定と否定)
2	4月27日	講義・演習	スタジオインサイドワーク(基本・挨拶の重要性)	映画やドラマの視聴(国内外問わず)週2本以上
3	5月11日	講義・演習	大塚式アテレコ台本のチェック基礎&応用	映画やドラマの視聴(国内外問わず)週2本以上
4	5月18日	講義・演習	アテレコ基本技術確認＆ディスカッション	映画やドラマの視聴(国内外問わず)週2本以上
5	5月25日	講義・演習	アテレコ基本技術確認＆ディスカッション	映画やドラマの視聴(国内外問わず)週2本以上
6	6月1日	講義・演習	課題台本による実践チェック(音響ブース)	課題の読み込み、演技プラン、パーソナルデータ構築
7	6月8日	講義・演習	課題台本による実践チェック(スタジオブース)	課題の読み込み、演技プラン、パーソナルデータ構築
8	6月15日	講義・演習	実践模擬オーディション	映画やドラマの視聴(国内外問わず)週2本以上
9	6月22日	講義・演習	実践模擬オーディションチェック(自己確認)	映画やドラマの視聴(国内外問わず)週2本以上
10	6月29日	講義・演習	自己キャラクターの構築&開発	映画やドラマの視聴(国内外問わず)週2本以上
11	7月6日	講義・演習	実践模擬オーディション	映画やドラマの視聴(国内外問わず)週2本以上
12	7月13日	講義・演習	実践模擬オーディションチェック(自己確認)	映画やドラマの視聴(国内外問わず)週2本以上
13	8月24日	講義・演習	自己キャラクターの構築&開発	映画やドラマの視聴(国内外問わず)週2本以上
14	8月31日	講義・演習	イベント実践を通して表現を学ぶ	レポート作成
15	9月7日	講義・演習	イベント実践を通して表現を学ぶ	レポート作成
準備学習　時間外学習			発声練習、滑舌練習、ファルセット(裏声)発声、キャラ模写、映画やドラマの視聴	

【使用教科書・教材・参考書】

自身のコンセプトにあった恰好。メモ用筆記用具。

科目名	声優業界実習(4)	必修選択	選択必修	年次	2	担当教員	大塚智則
学科・コース	ダンス＆アクターズ科(昼間部2)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30（2単位）		
教員の略歴	声優歴は17年、現在1700本以上に出演。外国映画、ドラマの音響ディレクターも兼任。						
授業の学習内容	実際の収録台本と映像を軸に実際の収録状況を再現。後期は外国映画の吹替え台本を使用メインに使用し、模擬オーディションを実施。結果を認識させ、利点と注意点を確認しながら、個々のセールスポイントとウィークポイントを洗い出す。模擬オーディションを繰り返しながら、自身の可能性を自信にする内容に重きを置く。						
到達目標	外画オーディションと同じニュアンスで各人をチェックし、キャスティング、収録、選抜方法を様々な観点から模索し、自他共に理想とする表現者のイメージを探求する。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月5日	講義・演習	目標の設定・確認	来年4月時点での自分のイメージ
2	10月12日	講義・演習	実践模擬オーディション	映画やドラマの視聴（国内外問わず）週2本以上
3	10月19日	講義・演習	実践模擬オーディションチェック（意見交換）	映画やドラマの視聴（国内外問わず）週2本以上
4	10月26日	講義・演習	自分達でキャスティングしてみよう	映画やドラマの視聴（国内外問わず）週2本以上
5	11月2日	講義・演習	自分達でキャスティング＆実践	映画やドラマの視聴（国内外問わず）週2本以上
6	11月16日	講義・演習	自分達でキャスティング＆実践	映画やドラマの視聴（国内外問わず）週2本以上
7	11月23日	講義・演習	新課題作品による模擬オーディション1（初見3回チェック）	映画やドラマの視聴（国内外問わず）週2本以上
8	11月30日	講義・演習	自己演技パターンの再確認（傾向と対策）	肯定イメージと反省点の考察作業
9	12月7日	講義・演習	新課題作品による模擬オーディション2（初見3回チェック）	映画やドラマの視聴（国内外問わず）週2本以上
10	12月14日	講義・演習	自己演技パターンの再確認（傾向と対策）	肯定イメージと反省点の考察作業
11	12月21日	講義・演習	新課題作品による模擬オーディション3（初見3回チェック）	映画やドラマの視聴（国内外問わず）週2本以上
12	1月11日	講義・演習	自己演技パターンの再確認（傾向と対策）	肯定イメージと反省点の考察作業
13	1月18日	講義・演習	課題キャスティング選抜オーディション	課題の読み込み・パーソナルデータの構築
14	2月1日	講義・演習	イベント実践を通して表現を学ぶ	レポート作成
15	2月8日	講義・演習	イベント実践を通して表現を学ぶ	レポート作成
準備学習　時間外学習			発声練習、滑舌練習、ファルセット（裏声）発声、キャラ模写、映画やドラマの視聴	

【使用教科書・教材・参考書】

自身のコンセプトにあった恰好。メモ用筆記用具。

科目名	Actor's ヴォイストレーニング(3)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	潤豊
学科・コース	ダンス＆アクターズ科(昼間部2)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30（2単位）		
教員の略歴	THE SOULMATICSのメンバーとしてイベント等に出演。多方面に活躍中。						
授業の学習内容	歌を通じて、表現者としての心の解放、コミュニケーション能力の向上を図る。						
到達目標	歌で自己を表現できる。歌う上での基礎知識を得ることができる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月21日	講義・演習	外化、姿勢・呼吸チェック、歌唱	姿勢呼吸の復習、練習
2	4月28日	講義・演習	姿勢・呼吸チェック、ゴスペル歌唱(課題曲1.2)	課題曲のパート復習、基礎練習
3	5月12日	講義・演習	姿勢・呼吸チェック、ゴスペル歌唱(課題曲1.2)	課題曲のパート復習、基礎練習
4	5月19日	講義・演習	歌唱(課題曲1.2)各パートの音をより明確に	課題曲のパート復習(音色も気をつけながら
5	5月26日	講義・演習	歌唱(課題曲1.2)出来るだけオリジナルに再現する	姿勢呼吸の復習、練習
6	6月2日	講義・演習	ゴスペル歌唱(課題曲3.4)	課題曲のパート復習、基礎練習
7	6月9日	講義・演習	ゴスペル歌唱(課題曲3.4)	課題曲のパート復習、基礎練習
8	6月16日	講義・演習	歌唱(課題曲3.4)各パートの音をより明確に	課題曲のパート復習(音色も気をつけながら)
9	6月23日	講義・演習	歌唱(課題曲3.4)出来るだけオリジナルに再現する	姿勢呼吸の復習、練習
10	6月30日	講義・演習	ゴスペル歌唱(課題曲5.6)	課題曲のパート復習、基礎練習
11	7月7日	講義・演習	ゴスペル歌唱(課題曲5.6)	課題曲のパート復習、基礎練習
12	7月14日	講義・演習	ゴスペル歌唱(課題曲5.6)発表会へ向けて練習	課題曲のパート復習(音色も気をつけながら)
13	8月25日	講義・演習	クラス内発表会	姿勢呼吸の復習、練習
14	9月1日	講義・演習	イベント実践を通して表現を学ぶ	レポート作成
15	9月8日	講義・演習	イベント実践を通して表現を学ぶ	レポート作成
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	Actor's ヴォイストレーニング(4)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	潤豊
学科・コース	ダンス＆アクターズ科(昼間部2)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30（2単位）		
教員の略歴	THE SOULMATICSのメンバーとしてイベント等に出演。多方面に活躍中。						
授業の学習内容	歌を通じて、表現者としてのコミュニケーション能力の向上を図る。						
到達目標	歌で自己を表現できる。歌う上での基礎知識を得ることができる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	外化、姿勢・呼吸チェック、歌唱	姿勢呼吸の復習、練習
2	10月13日	講義・演習	姿勢・呼吸チェック、ゴスペル歌唱(課題曲7.8)	課題曲のパート復習、基礎練習
3	10月20日	講義・演習	姿勢・呼吸チェック、ゴスペル歌唱(課題曲7.8)	課題曲のパート復習、基礎練習
4	10月27日	講義・演習	歌唱(課題曲7.8)各パートの音をより明確に	課題曲のパート復習(音色も気をつけながら)
5	11月3日	講義・演習	歌唱(課題曲7.8)出来るだけオリジナルに再現する	姿勢呼吸の復習、練習
6	11月17日	講義・演習	ゴスペル歌唱(課題曲9.10)	課題曲のパート復習、基礎練習
7	11月24日	講義・演習	ゴスペル歌唱(課題曲9.10)	課題曲のパート復習、基礎練習
8	12月1日	講義・演習	歌唱(課題曲9.10)各パートの音をより明確に	課題曲のパート復習(音色も気をつけながら)
9	12月8日	講義・演習	歌唱(課題曲9.10)出来るだけオリジナルに再現する	姿勢呼吸の復習、練習
10	12月15日	講義・演習	ゴスペル歌唱(課題曲11.12)発表会へ向けて練習	課題曲のパート復習、基礎練習
11	1月12日	講義・演習	ゴスペル歌唱(課題曲11.12)発表会へ向けて練習	課題曲のパート復習、基礎練習
12	1月19日	講義・演習	ゴスペル歌唱(課題曲11.12)発表会へ向けて練習	課題曲のパート復習(音色も気をつけながら)
13	2月2日	講義・演習	クラス内発表会	課題曲のパート復習(音色も気をつけながら)
14	2月9日	講義・演習	イベント実践を通して表現を学ぶ	レポート作成
15	2月16日	講義・演習	イベント実践を通して表現を学ぶ	レポート作成
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	アテレコ(3)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	橋本浩志
学科・コース	ダンス＆アクターズ科(昼間部2)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	60（4単位）		
教員の略歴	外画・アニメ多数。テレビ映像、音響監督、舞台ミュージカル、TDSホテルミラコスタ結婚式司会、ブライダルショーキャスト。						
授業の学習内容	アフレコ実習を通して表現者としてのスキルを身に付けさせる。それぞれの個性を見出し、それを活かした表現で感情、動き、距離感などが映像とうまくシンクロできるよう導く。将来的には授業経験を活かし、表現者としても、社会人としても人間的な魅力に満ちた個人に成長してほしい。						
到達目標	アニメの登場人物の感情や世界観などを正しく理解、解釈が出来、それを表現する力を習得させる。また常識の枠を超えたユニークな発想、表現へのチャレンジ精神を養う。スタジオでのマナーも共に学ぶ。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義・演習	アフレコ・吹き替えの歴史から現状までを知る。	発声・滑舌・呼吸など基礎力の見直し
2	4月24日	講義・演習	マイクを使ってマイクワークや機材の特性などを感覚的に身に付ける。この時期で教材選びをする。	発声・滑舌・呼吸など基礎力の見直し
3	5月8日	講義・演習	マイクを使ってマイクワークや機材の特性・マイク距離を感覚的に身に付ける。	アクセント・滑舌の見直し
4	5月15日	講義・演習	初めは短い題材を使ってアフレコの基礎を学ぶ	アクセント・滑舌の見直し
5	5月22日	講義・演習	読み合わせなどをしながら解釈・表現・会話演技を習得する。	理解できなかった感情やシーンを再考する
6	5月29日	講義・演習	アフレコ実習を重ね、問題点や強みなどを客観的に評価する力を身に付けさせる。	理解できなかった感情やシーンを再考する
7	6月5日	講義・演習	アフレコ実習と読み合わせなどを組み合わせながらよりアフレコの完成度を上げる。	今後はひたすら授業で演じたキャラの感情解釈に努め次回同じシーンを演じるに当ってもレベルアップを目指した予習復習や他生徒との事前リハを繰り返すこと。
8	6月12日	講義・演習	アフレコした内容をチェックし、細かい修正を重ねる。また自身のアイデアを反映させる。	
9	6月19日	講義・演習	新たな題材を使って以前に学んだ事柄が応用出来ているか確認する。	
10	6月26日	講義・演習	キャラクターの感情や動き、距離などを表現できているか再確認しながら実習を重ねる	
11	7月3日	講義・演習	全体の底上げを図りながら実習を重ねる。	
12	7月10日	講義・演習	後期に向けた個々の目標を確認しつつ、実習を重ねる	
13	8月21日	講義・演習	課題の実技にて採点	どの配役でも対応出来るように全役を想定した予習をする事
14	8月28日	講義・演習	イベント実践を通して表現を学ぶ	レポート作成
15	9月4日	講義・演習	イベント実践を通して表現を学ぶ	レポート作成
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

アクセント辞典・アフレコ実習台本

科目名	アテレコ(4)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	橋本浩志
学科・コース	ダンス＆アクターズ科(昼間部2)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	60（4単位）		
教員の略歴	外画・アニメ多数。テレビ映像、音響監督、舞台ミュージカル、TDSホテルミラコスタ結婚式司会、ブライダルショーキャスト。						
授業の学習内容	アフレコ実習を通して表現者としてのスキルを身に付けさせる。それぞれの個性を見出し、それを活かした表現で感情、動き、距離感などが映像とうまくシンクロできるよう導く。将来的には授業経験を活かし、表現者としても、社会人としても人間的な魅力に満ちた個人に成長してほしい。						
到達目標	アニメの登場人物の感情や世界観などを正しく理解、解釈が出来、それを表現する力を習得させる。また常識の枠を超えたユニークな発想、表現へのチャレンジ精神を養う。スタジオでのマナーも共に学ぶ。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月2日	講義・演習	新しい題材を使って前期からのレベルが維持されているか確認する。	改めての発声・滑舌・呼吸など基礎力の見直し
2	10月9日	講義・演習	新しい題材を使ってアフレコ実習を重ね、演技のスキルアップを図りながらプロ意識を植え付ける。	よりリアリティのある表現力を身に付ける為に舞台や映画などを観て参考にしたり、リアル体験を通して表現のヒント・答えを日常生活の中に見出す観察力や洞察力を養う。
3	10月16日	講義・演習	この時期より長尺の題材を使ってアフレコ実習を経験する。	
4	10月23日	講義・演習	プロ現場の現状を踏まえ、キャラ別やシーン別の別録り実習を経験する。	
5	10月30日	講義・演習	別録りの環境でも相手役のセリフを想定した演技の感覚を身に付けさせる。	表現者としての目標を高く持ち、温故知新の気持ちであらゆる時代、広い幅の作品を鑑賞して表現の参考にする。
6	11月6日	講義・演習	別録り実習でも作品の全体像を視野に入れた表現力を身に付ける目標を持ったアフレコ実習を重ねる。	
7	11月13日	講義・演習	配役を変えながらアフレコ実習を重ね、自分にあったキャラを見つける。	
8	11月20日	講義・演習	配役を変えながらアフレコ実習を重ね、自分にあったキャラを見つける。またはキャラ数を増やす。	現在実習中の作品に出演しているプロ声優の表現・芝居を研究して参考にする。　なぜこのような芝居に至ったのか、この感情は何なのか？自分ならどう演じるか？などを常に考える習慣を身に付ける。またプロの演技を真似てみるのも良い。
9	11月27日	講義・演習	オーディションも視野に入れながらのアフレコ実習。 個性・魅力ある人材育成。	
10	12月4日	講義・演習	オーディションも視野に入れながらのアフレコ実習。 自分の強みを見つける。	
11	12月11日	講義・演習	アフレコ実習で自分自身の目標達成や問題改善が出来ているか？チェック！	
12	12月18日	講義・演習	自分自身の目標達成や問題改善が出来ているか、今後の達成目標が理解できているかをチェック	
13	1月15日	講義・演習	課題の実技にて採点	どの配役でも対応出来るように全役を想定した予習をする事
14	1月29日	講義・演習	イベント実践を通して表現を学ぶ	レポート作成
15	2月5日	講義・演習	イベント実践を通して表現を学ぶ	レポート作成
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

アクセント辞典・アフレコ実習台本

科目名	Actor's HIP HOP(3)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	田島あこ
学科・コース	ダンス＆アクターズ科(昼間部2)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30（2単位）		
教員の略歴	a-nation・及川光博・中村あゆみ・MAX・hitomi・相川七瀬・プリキュアオールスターズ・三森すずこ・上坂すみれ等アーティストバックアップダンサーやMV出演　明治安田生命CM出演　私立・公立高校ダンス部指導　スタジオインストラクター□						
授業の学習内容	①リズム感を養う。また体力をつけ、自分の身体知り強化する。臨機応変な対応や即興力を身につける。 ②表現力や対応力が身に付くため舞台等にも役立つ ③身体を動かし汗をかく事の大切さや楽しさを知ってほしい 基礎的な身体づくりや体力づくりから始め、音楽に合わせてステップを踏んだりなどのリズムトレーニング						
到達目標	授業毎に与えられた振付に対して自分らしい表現を加える						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義・演習	柔軟性を高める	ストレッチ
2	4月24日	講義・演習	体幹力を高める	ストレッチ
3	5月8日	講義・演習	ターンの強化	ストレッチ
4	5月15日	講義・演習	ステップ強化	ストレッチ
5	5月22日	講義・演習	コンビネーションによる対応力の強化	ストレッチ
6	5月29日	講義・演習	ステップ時の上半身の使い方を習得	ストレッチ
7	6月5日	講義・演習	MAVE強化	ストレッチ
8	6月12日	講義・演習	滑らかな動きを習得	ストレッチ
9	6月19日	講義・演習	STOPの強化	ストレッチ
10	6月26日	講義・演習	緩急のある動きを習得	ストレッチ
11	7月3日	講義・演習	複雑な振付を習得	ストレッチ
12	7月10日	講義・演習	複雑なステップやターンを取り入れた振付を習得	ストレッチ
13	8月21日	講義・演習	前期のまとめを実践	ストレッチ
14	8月28日	講義・演習	イベント実践を通して表現を学ぶ	レポート作成
15	9月4日	講義・演習	イベント実践を通して表現を学ぶ	レポート作成
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

動きやすい格好。ダンススニーカー

科目名	Actor's HIP HOP(4)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	田島あこ
学科・コース	ダンス＆アクターズ科(昼間部2)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30（2単位）		
教員の略歴	a-nation・及川光博・中村あゆみ・MAX・hitomi・相川七瀬・プリキュアオールスターズ・三森すずこ・上坂すみれ等アーティストバックアップダンサーやMV出演　明治安田生命CM出演　私立・公立高校ダンス部指導　スタジオインストラクター□						
授業の学習内容	①リズム感を養う。また体力をつけ、自分の身体知り強化する。臨機応変な対応や即興力を身につける。 ②表現力や対応力が身に付くため舞台等にも役立つ ③身体を動かし汗をかく事の大切さや楽しさを知ってほしい 基礎的な身体づくりや体力づくりから始め、音楽に合わせてステップを踏んだりなどのリズムトレーニング						
到達目標	振付を踊る上で音と動きがしっかりリンク出来るようにする						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月2日	講義・演習	筋トレ強化により体力をつける	ストレッチ
2	10月9日	講義・演習	フロア技を習得	ストレッチ
3	10月16日	講義・演習	立ち踊りからのフロア技を習得	ストレッチ
4	10月23日	講義・演習	ペアワークにより対応力を高める	ストレッチ
5	10月30日	講義・演習	ペアダンスを強化	ストレッチ
6	11月6日	講義・演習	グループワークにより協調性を高める	ストレッチ
7	11月13日	講義・演習	グループ毎にオリジナルの構成を実践	ストレッチ
8	11月20日	講義・演習	ソロダンスを習得	ストレッチ
9	11月27日	講義・演習	オリジナルのソロダンスを実践	ストレッチ
10	12月4日	講義・演習	課題曲振付の実践	ストレッチ
11	12月11日	講義・演習	課題曲振付を強化	ストレッチ
12	12月18日	講義・演習	課題曲振付の披露	ストレッチ
13	1月15日	講義・演習	2年間の総まとめを実践	ストレッチ
14	1月29日	講義・演習	イベント実践を通して表現を学ぶ	レポート作成
15	2月5日	講義・演習	イベント実践を通して表現を学ぶ	レポート作成
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

動きやすい格好。ダンススニーカー

科目名	コーラスワーク(3)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	西涼子
学科・コース	ダンス＆アクターズ科(昼間部2)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30（2単位）		
教員の略歴	インストラクター、独自のバンド活動、アーティストのバックコーラス、コンサートツアーに参加。						
授業の学習内容	音感を養う為に半音、スケールをしっかり歌える様にして身体鍵盤をもてるようにする。 サイトシンギングのトレーニングを用いて音と音の響きの感覚をしっかりと身に着ける。 ハーモニーを創る楽しさを感じ取ってもらいたい。						
到達目標	メインのメロディー、ハモリの音程がしっかりと取れる為の音感を養い、つられることなくコードの中で美しくメロディーやハモリのパートを歌えることを目標とする。 また最終的に自分でハモリのパートを付けられるように自由にコーラスが出来る様にトレーニングを行う。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月21日	講義・演習	1年間の授業内容の説明とプリント配布・(this little light of mine)歌唱トレーニング	プリントの解読・(this little light of mine)のおさらい
2	4月28日	講義・演習	姿勢、逆複式呼吸のおさらいと実践 ・(this little light of mine)歌唱トレーニング	姿勢・逆腹式呼吸のおさらい・(this little light of mine)のおさらい
3	5月12日	講義・演習	歌う時の筋肉の使い方のおさらいと実践・(this little light of mine)歌唱トレーニング	筋肉トレーニング・(this little light of mine)のおさらい
4	5月19日	講義・演習	1～3週の復習と、(this little light of mine)を発表	1～3週の復習　発表曲のおさらい
5	5月26日	講義・演習	腹筋強化のトレーニング　スケールのトレーニング・(the rose)歌唱トレーニング	腹筋強化・スケール・(the rose)のおさらい
6	6月2日	講義・演習	身体の中で声を鳴らすトレーニング・スケールのトレーニング・(the rose)歌唱トレーニング	響かす・スケール・(the rose)のおさらい
7	6月9日	講義・演習	鼻を響かすアミングのトレーニング・スケールのトレーニング・(the rose)歌唱トレーニング	アミング・スケール・(the rose)のおさらい
8	6月16日	講義・演習	5～7週の復習と、(the rose)を発表	5～7週の復習　発表曲のおさらい
9	6月23日	講義・演習	ハミング・リップロールのトレーニング・半音のトレーニング・(世界に1つだけの花)歌唱トレーニング	ハミング・リップロール・半音・(世界に1つだけの花)のおさらい
10	6月30日	講義・演習	タンギングの実践と強化・半音のトレーニング・(世界に1つだけの花)歌唱トレーニング	タンギング・半音・(世界に1つだけの花)のおさらい
11	7月7日	講義・演習	母音の響きを均一にする発声練習　半音のトレーニング・(世界に1つだけの花)歌唱トレーニング	母音・半音・(世界に1つだけの花)のおさらい
12	7月14日	講義・演習	9～11週の復習・(世界に1つだけの花)を発表	9～11週の復習　発表曲のおさらい
13	8月25日	講義・演習	前期の授業確認	前期の復習
14	9月1日	講義・演習	イベント実践を通してをハーモニーの美しさ・楽しさを学ぶ	レポート作成
15	9月8日	講義・演習	イベント実践を通してパフォーマンス能力を学ぶ	レポート作成
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

配布したプリント・メモ用ノート・録音機器（ipad）

科目名	コーラスワーク(4)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	西涼子
学科・コース	ダンス＆アクターズ科(昼間部2)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30（2単位）		
教員の略歴	インストラクター、独自のバンド活動、アーティストのバックコーラス、コンサートツアーに参加。						
授業の学習内容	音感を養う為に半音、スケールをしっかり歌える様にして身体鍵盤をもてるようにする。 サイトシンギングのトレーニングを用いて音と音の響きの感覚をしっかりと身に着ける。 ハーモニーを創る楽しさを感じ取ってもらいたい。						
到達目標	メインのメロディー、ハモリの音程がしっかりと取れる為の音感を養い、つられることなくコードの中で美しくメロディーやハモリのパートを歌えることを目標とする。 また最終的に自分でハモリのパートを付けられるように自由にコーラスが出来る様にトレーニングを行う。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	後期の各自の目標制作	後期の目標確認
2	10月13日	講義・演習	後期のコーラス曲を発表	発表曲のおさらい
3	10月20日	講義・演習	前期で学んだ事のすべてのおさらい・(seasons of love)歌唱トレーニング	前期の確認・(seasons of love)のおさらい
4	10月27日	講義・演習	呼吸法のトレーニング①　リズムトレーニング①・(seasons of love)歌唱トレーニング	呼吸法・リズム・(seasons of love)のおさらい
5	11月3日	講義・演習	呼吸法のトレーニング②　ポルタメントの実践・(seasons of love)歌唱トレーニング	呼吸法・ポルタメント・(seasons of love)のおさらい
6	11月17日	講義・演習	4～5週の復習と、(seasons of love)を発表	4～5週の復習　発表曲のおさらい
7	11月24日	講義・演習	腹筋強化つま先立ちトレーニング①・(oh happy day)歌唱トレーニング	つま先立ち・(oh happy day)のおさらい
8	12月1日	講義・演習	腹筋強化肩甲骨トレーニング②・(oh happy day)歌唱トレーニング	肩甲骨・(oh happy day)のおさらい
9	12月8日	講義・演習	腹筋強化肩回しトレーニング③・(oh happy day)歌唱トレーニング	肩回し・(oh happy day)のおさらい
10	12月15日	講義・演習	7～9週の復習と(oh happy day)を発表	7～9週の復習　発表曲のおさらい
11	1月12日	講義・演習	1年間のまとめ　前半	前半のおさらい
12	1月19日	講義・演習	1年間のまとめ　後半	発表曲のおさらい
13	2月2日	講義・演習	1年間の課題曲の発表	発表曲のおさらい
14	2月9日	講義・演習	イベント実践を通してアピールポイントを学ぶ	レポート作成
15	2月16日	講義・演習	イベント実践を通して表現力を学ぶ	レポート作成
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

配布したプリント・メモ用ノート・録音機器（ipad）

科目名	Body expression(3)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	柳瀬眞澄
学科・コース	ダンス＆アクターズ科(昼間部2)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30（2単位）		
教員の略歴	元小林紀子バレエ団にてプリマとして主役を踊る他、文化庁助成日本バレエ協会公演、文化庁主催　全国移動公演都民芸術フェスティバル、日本バレエフェスティバル等に出演。						
授業の学習内容	バレエレッスン（体つくりとバレエの基礎レッスン）						
到達目標	バレエを通し、姿勢が良くなり、身体コントロール、表現を学ぶ。 自分自身（人間）の体を知り、自分自身を客観的にコントロールし空間への広がり、表現の幅を広げる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義・演習	１年次の復習	ストレッチ・レッスン内容の振り返り
2	4月24日	講義・演習	１年次の復習（バーレッスン）	ストレッチ・レッスン内容の振り返り
3	5月8日	講義・演習	バーレッスンの手の動きをプラス	ストレッチ・レッスン内容の振り返り
4	5月15日	講義・演習	バーレッスンの手の動きをプラス	ストレッチ・レッスン内容の振り返り
5	5月22日	講義・演習	バーレッスンのちバーを離しタンジェ・デガジェ・タニリエの組み合わせ	ストレッチ・レッスン内容の振り返り
6	5月29日	講義・演習	バーレッンのちバーを離しタンジェ・デガジェ・タニリエの組み合わせ	ストレッチ・レッスン内容の振り返り
7	6月5日	講義・演習	バーレッスンのち前回にプラス、ルティレ・ポールドブラの組み合わせ	ストレッチ・レッスン内容の振り返り
8	6月12日	講義・演習	バーレッスンのち前回にプラス、ルティレ・ポールドブラの組み合わせ	ストレッチ・レッスン内容の振り返り
9	6月19日	講義・演習	バーレッスンのち回転をプラス	ストレッチ・レッスン内容の振り返り
10	6月26日	講義・演習	バーレッスンのち回転をプラス	ストレッチ・レッスン内容の振り返り
11	7月3日	講義・演習	バーレッスンのちセッター（バーを離した状態で）ジャンプなどプラス	ストレッチ・レッスン内容の振り返り
12	7月10日	講義・演習	バーレッスンのちセッター（バーを離した状態で）ジャンプなどプラス	ストレッチ・レッスン内容の振り返り
13	8月21日	講義・演習	テスト	ストレッチ・レッスン内容の振り返り
14	8月28日	講義・演習	イベント実践を通して表現を学ぶ	レポート作成
15	9月4日	講義・演習	イベント実践を通して表現を学ぶ	レポート作成
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	Body expression(4)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	柳瀬眞澄
学科・コース	ダンス＆アクターズ科(昼間部2)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30（2単位）		
教員の略歴	元小林紀子バレエ団にてプリマとして主役を踊る他、文化庁助成日本バレエ協会公演、文化庁主催　全国移動公演都民芸術フェスティバル、日本バレエフェスティバル等に出演。						
授業の学習内容	バレエレッスン（体つくりとバレエの基礎レッスン）						
到達目標	バレエを通し、姿勢が良くなり、身体コントロール、表現を学ぶ。 自分自身（人間）の体を知り、自分自身を客観的にコントロールし空間への広がり、表現の幅を広げる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月2日	講義・演習	1年次の復習	ストレッチ・レッスン内容の振り返り
2	10月9日	講義・演習	1年次の復習（バーレッスン）	ストレッチ・レッスン内容の振り返り
3	10月16日	講義・演習	バーレッスンの手の動きをプラス	ストレッチ・レッスン内容の振り返り
4	10月23日	講義・演習	バーレッスンの手の動きをプラス	ストレッチ・レッスン内容の振り返り
5	10月30日	講義・演習	バーレッスンのちバーを離しタンジェ・デガジェ・タニリエの組み合わせ	ストレッチ・レッスン内容の振り返り
6	11月6日	講義・演習	バーレッンのちバーを離しタンジェ・デガジェ・タニリエの組み合わせ	ストレッチ・レッスン内容の振り返り
7	11月13日	講義・演習	バーレッスンのち前回にプラス、フェリティレ・ポールドブラの組み合わせ	ストレッチ・レッスン内容の振り返り
8	11月20日	講義・演習	バーレッスンのち前回にプラス、フェリティレ・ポールドブラの組み合わせ	ストレッチ・レッスン内容の振り返り
9	11月27日	講義・演習	バーレッスンのち回転をプラス	ストレッチ・レッスン内容の振り返り
10	12月4日	講義・演習	バーレッスンのち回転をプラス	ストレッチ・レッスン内容の振り返り
11	12月11日	講義・演習	バーレッスンのちセッター（バーを離した状態で）ジャンプなどプラス	ストレッチ・レッスン内容の振り返り
12	12月18日	講義・演習	バーレッスンのちセッター（バーを離した状態で）ジャンプなどプラス	ストレッチ・レッスン内容の振り返り
13	1月15日	講義・演習	テスト	ストレッチ・レッスン内容の振り返り
14	1月29日	講義・演習	イベント実践を通して表現を学ぶ	レポート作成
15	2月5日	講義・演習	イベント実践を通して表現を学ぶ	レポート作成
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	ナレーションA(3)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	森　雄一
学科・コース	ダンス＆アクターズ科(昼間部2)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	60（4単位）		
教員の略歴	ラジオパーソナリティ、ナレーションとして活躍中。						
授業の学習内容	様々なタイプの原稿を読み、自分の癖の発見、修正。息の使い方、声の響かせ方、文章の読み方など、様々な表現方法を習得していく。						
到達目標	自分が表現したい事を、自分なりの表現方法と声で伝える事が出来るようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月18日	講義・演習	ナレーションとは。ナレーションに必要な要素は何か	テレビ、ラジオから聞こえてくる声に耳を傾ける
2	5月9日	講義・演習	簡単な原稿を読んでみる。ナレーションの基礎知識、注意点。	活舌、発声
3	5月16日	講義・演習	前回の復習と自分の癖へ気付き、改善。	活舌、発声
4	5月23日	講義・演習	音楽にのってNa原稿を読んでみる。音楽を味方につける。	音楽を聴いてリズムを感じる
5	5月30日	講義・演習	音楽にのってNa原稿を読んでみる。音楽を味方につける。	音楽を聴いてリズムを感じる
6	6月6日	講義・演習	感情解放とはどのような事か。今後業界で活躍する為の必要要素。	自分の内面へのアプローチ
7	6月13日	講義・演習	芝居の台本とNa原稿との違いと相似点を学ぶ。	読書の習慣を身に付ける
8	6月20日	講義・演習	朗読としての台本読み	読書の習慣を身に付ける
9	6月27日	講義・演習	朗読としての台本読み	読書の習慣を身に付ける
10	7月4日	講義・演習	MC台本を使っての台本読み、表現の幅を広げる。	自分の身体への気付きを増やす
11	7月11日	講義・演習	MC台本を使っての台本読み、表現の幅を広げる。	自分の身体への気付きを増やす
12	7月18日	講義・演習	様々なタイプの原稿読み。前期まとめ。	学びを体現できるようにする
13	8月22日	講義・演習	様々なタイプの原稿読み。前期まとめ。	学びを体現できるようにする
14	8月29日	講義・演習	イベント実践を通して表現を学ぶ	レポート作成
15	9月5日	講義・演習	イベント実践を通して表現を学ぶ	レポート作成
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	ナレーションA(4)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	森　雄一
学科・コース	ダンス＆アクターズ科(昼間部2)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	60（4単位）		
教員の略歴	ラジオパーソナリティ、ナレーションとして活躍中。						
授業の学習内容	様々なタイプの原稿を読み、自分の癖の発見、修正。息の使い方、声の響かせ方、文章の読み方など、様々な表現方法を習得していく。						
到達目標	自分が表現したい事を、自分なりの表現方法と声で伝える事が出来るようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月3日	講義・演習	前期の復習。改めて、Naでの注意点。	自分が成長したことの再認識
2	10月10日	講義・演習	BGMのある原稿読み	音楽を身体で感じて、リズム感を養う
3	10月17日	講義・演習	BGMのある原稿読み	音楽を身体で感じ、味方にしていく
4	10月24日	講義・演習	文章の内容を伝えるために必要なことは何か	自分が感じた事を、まずは言葉で表してみる
5	10月31日	講義・演習	ラジオドラマの台本で実習	キャラクターを自分で構築する
6	11月7日	講義・演習	ラジオドラマの台本で実習	キャラクターにあった表現を学ぶ
7	11月14日	講義・演習	ラジオドラマの台本で実習	自分のイメージしたキャラクターとして存在できているか
8	11月21日	講義・演習	様々なタイプの原稿を読み込む	学んできた事を復習し、新たな学びを増やす
9	11月28日	講義・演習	様々なタイプの原稿を読み込む	学んできた事を復習し、新たな学びを増やす
10	12月5日	講義・演習	改めて発声の基礎から再確認	日常生活の中で習慣にすべきことを理解する
11	12月12日	講義・演習	原稿の内容をどのように伝えていくのか	どんな表現が出来るか常に意識して楽しんでみる
12	12月19日	講義・演習	原稿の内容をどのように伝えていくのか	どんな表現が出来るか常に意識して楽しんでみる
13	1月9日	講義・演習	1年間の振り返り	表現することを楽しむ
14	1月16日	講義・演習	イベント実践を通して表現を学ぶ	レポート作成
15	1月30日	講義・演習	イベント実践を通して表現を学ぶ	レポート作成
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	ナレーションB(3)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	森　雄一
学科・コース	ダンス＆アクターズ科(昼間部2)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30（2単位）		
教員の略歴	ラジオパーソナリティ、ナレーションとして活躍中。						
授業の学習内容	様々なタイプの原稿を読み、自分の癖の発見、修正。息の使い方、声の響かせ方、文章の読み方など、様々な表現方法を習得していく。						
到達目標	自分が表現したい事を、自分なりの表現方法と声で伝える事が出来るようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月18日	講義・演習	ナレーションとは。ナレーションに必要な要素は何か	テレビ、ラジオから聞こえてくる声に耳を傾ける
2	5月9日	講義・演習	簡単な原稿を読んでみる。ナレーションの基礎知識、注意点。	活舌、発声
3	5月16日	講義・演習	前回の復習と自分の癖へ気付き、改善。	活舌、発声
4	5月23日	講義・演習	音楽にのってNa原稿を読んでみる。音楽を味方につける。	音楽を聴いてリズムを感じる
5	5月30日	講義・演習	音楽にのってNa原稿を読んでみる。音楽を味方につける。	音楽を聴いてリズムを感じる
6	6月6日	講義・演習	感情解放とはどのような事か。今後業界で活躍する為の必要要素。	自分の内面へのアプローチ
7	6月13日	講義・演習	芝居の台本とNa原稿との違いと相似点を学ぶ。	読書の習慣を身に付ける
8	6月20日	講義・演習	朗読としての台本読み	読書の習慣を身に付ける
9	6月27日	講義・演習	朗読としての台本読み	読書の習慣を身に付ける
10	7月4日	講義・演習	MC台本を使っての台本読み、表現の幅を広げる。	自分の身体への気付きを増やす
11	7月11日	講義・演習	MC台本を使っての台本読み、表現の幅を広げる。	自分の身体への気付きを増やす
12	7月18日	講義・演習	様々なタイプの原稿読み。前期まとめ。	学びを体現できるようにする
13	8月22日	講義・演習	様々なタイプの原稿読み。前期まとめ。	学びを体現できるようにする
14	8月29日	講義・演習	イベント実践を通して表現を学ぶ	レポート作成
15	9月5日	講義・演習	イベント実践を通して表現を学ぶ	レポート作成
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	ナレーションB(4)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	森　雄一
学科・コース	ダンス＆アクターズ科(昼間部2)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30（2単位）		
教員の略歴	ラジオパーソナリティ、ナレーションとして活躍中。						
授業の学習内容	様々なタイプの原稿を読み、自分の癖の発見、修正。息の使い方、声の響かせ方、文章の読み方など、様々な表現方法を習得していく。						
到達目標	自分が表現したい事を、自分なりの表現方法と声で伝える事が出来るようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月3日	講義・演習	前期の復習。改めて、Naでの注意点。	自分が成長したことの再認識
2	10月10日	講義・演習	BGMのある原稿読み	音楽を身体で感じて、リズム感を養う
3	10月17日	講義・演習	BGMのある原稿読み	音楽を身体で感じ、味方にしていく
4	10月24日	講義・演習	文章の内容を伝えるために必要なことは何か	自分が感じた事を、まずは言葉で表してみる
5	10月31日	講義・演習	ラジオドラマの台本で実習	キャラクターを自分で構築する
6	11月7日	講義・演習	ラジオドラマの台本で実習	キャラクターにあった表現を学ぶ
7	11月14日	講義・演習	ラジオドラマの台本で実習	自分のイメージしたキャラクターとして存在できているか
8	11月21日	講義・演習	様々なタイプの原稿を読み込む	学んできた事を復習し、新たな学びを増やす
9	11月28日	講義・演習	様々なタイプの原稿を読み込む	学んできた事を復習し、新たな学びを増やす
10	12月5日	講義・演習	改めて発声の基礎から再確認	日常生活の中で習慣にすべきことを理解する
11	12月12日	講義・演習	原稿の内容をどのように伝えていくのか	どんな表現が出来るか常に意識して楽しんでみる
12	12月19日	講義・演習	原稿の内容をどのように伝えていくのか	どんな表現が出来るか常に意識して楽しんでみる
13	1月9日	講義・演習	1年間の振り返り	表現することを楽しむ
14	1月16日	講義・演習	イベント実践を通して表現を学ぶ	レポート作成
15	1月30日	講義・演習	イベント実践を通して表現を学ぶ	レポート作成
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	演技総合演習(3)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	大塚智則
学科・コース	ダンス＆アクターズ科(昼間部2)	授業形態	講義・演習	総時間(単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	声優歴は17年、現在1700本以上に出演。外国映画、ドラマの音響ディレクターも兼任。						
授業の学習内容	実際使用されたオーディオドラマ、ゲーム台本、古典作品、シアター台本等を使用しての多角的実践形式のレッスン。						
到達目標	キャラクター構築、作品の捉え方、ニーズを考えた演技プランの構築方法、実践的に体感する中でプロ意識を築かせる。それと共に社会性も高く持ち、リスペクトされる姿勢も身につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月20日	講義・演習	自己紹介の再構築(印象に残る自己紹介の方法認識)	目標、セールスポイントの確認
2	4月27日	講義・演習	大塚式アテレコ台本のチェック基礎&応用	映画やドラマの視聴(国内外問わず)週2本以上
3	5月11日	講義・演習	基本技術確認＆ディスカッション	キャラ仕入れ(キャラ模写(ものまね)可)
4	5月18日	講義・演習	基本技術確認＆ディスカッション	キャラ仕入れ(キャラ模写(ものまね)可)
5	5月25日	講義・演習	古典文学作品の実践朗読1	課題読み込み(毎日10分間)
6	6月1日	講義・演習	古典文学作品の実践朗読1	課題読み込み(毎日10分間)
7	6月8日	講義・演習	古典文学作品の実践朗読2	課題読み込み(毎日10分間)
8	6月15日	講義・演習	古典文学作品の実践朗読2	課題読み込み(毎日10分間)
9	6月22日	講義・演習	オーディオドラマ実践	課題読み込み(毎日10分間)
10	6月29日	講義・演習	オーディオドラマ実践	課題読み込み(毎日10分間)
11	7月6日	講義・演習	オーディオドラマ実践	課題読み込み(毎日10分間)
12	7月13日	講義・演習	オーディオドラマ実践	課題読み込み(毎日10分間)
13	8月24日	講義・演習	オーディオドラマ実践	課題読み込み(毎日10分間)
14	8月31日	講義・演習	イベント実践を通して表現を学ぶ	レポート作成
15	9月7日	講義・演習	イベント実践を通して表現を学ぶ	レポート作成
準備学習　時間外学習			発声練習、滑舌練習、ファルセット(裏声)発声、キャラ模写、映画やドラマの視聴	

【使用教科書・教材・参考書】

自身のコンセプトにあった恰好。メモ用筆記用具。

科目名	演技総合演習(4)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	大塚智則
学科・コース	ダンス＆アクターズ科(昼間部2)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30（2単位）		
教員の略歴	声優歴は17年、現在1700本以上に出演。外国映画、ドラマの音響ディレクターも兼任。						
授業の学習内容	引き続き、実際使用されたオーディオドラマ、ゲーム台本、古典作品、シアター台本等を使用しての多角的実践形式のレッスン。						
到達目標	キャラクター構築、作品の捉え方、ニーズを考えた演技プランの構築方法、実践的に体感する中でプロ意識を築かせる。自身の役割を自覚し、制作サイドの意図も想像できる役者に。それと共に社会性も高く持ち、リスペクトされる姿勢も身につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月5日	講義・演習	ゲーム台本を用いた演習（コメディー）	課題読み込み（時代背景仕入れ）
2	10月12日	講義・演習	ゲーム台本を用いた演習（コメディー）	課題読み込み（時代背景仕入れ）
3	10月19日	講義・演習	外画アテレコ演習（アクション）	アクション映画視聴
4	10月26日	講義・演習	外画アテレコ演習（アクション）	アクション映画視聴
5	11月2日	講義・演習	外画アテレコ演習（アクション）まとめ	アクション映画視聴
6	11月16日	講義・演習	ゲーム台本を用いた演習	課題読み込み（時代背景仕入れ）
7	11月23日	講義・演習	ゲーム台本を用いた演習	課題読み込み（時代背景仕入れ）
8	11月30日	講義・演習	ゲーム台本を用いた演習まとめ	課題読み込み（時代背景仕入れ）
9	12月7日	講義・演習	声優舞台台本を用いた演習	課題読み込み（毎日10分間）
10	12月14日	講義・演習	声優舞台台本を用いた演習	課題読み込み（毎日10分間）
11	12月21日	講義・演習	声優舞台台本を用いた演習	課題読み込み（毎日10分間）
12	1月11日	講義・演習	声優舞台台本を用いた演習	課題読み込み（毎日10分間）
13	1月18日	講義・演習	声優舞台台本を用いた演習まとめ	課題読み込み（毎日10分間）
14	2月1日	講義・演習	イベント実践を通して表現を学ぶ	レポート作成
15	2月8日	講義・演習	イベント実践を通して表現を学ぶ	レポート作成
準備学習　時間外学習			発声練習、滑舌練習、ファルセット（裏声）発声、キャラ模写、映画やドラマの視聴	

【使用教科書・教材・参考書】

自身のコンセプトにあった恰好。メモ用筆記用具。

科目名	ヴォーカルテクニック(3)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	潤豊
学科・コース	ダンス＆アクターズ科(昼間部2)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30（2単位）		
教員の略歴	THE SOULMATICSのメンバーとしてイベント等に出演。多方面に活躍中。						
授業の学習内容	発声。各自選曲～歌唱。音程、リズム、メロディーの捉え方、表現の仕方、マイクの使い方、など細かくレクチャー。						
到達目標	歌唱及びステージングのテクニックやアーティストの感性を磨き、自信を持ってライブやレコーディングを行えることを目指す。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月18日	講義・演習	ガイダンス～授業の流れ、選曲、発声	選曲オケ・歌詞カード準備・作成
2	5月9日	講義・演習	発声、ソロ歌唱～レクチャー	アドバイス復習・個人選曲の練習
3	5月16日	講義・演習	発声、ソロ歌唱～レクチャー	アドバイス復習・個人選曲の練習
4	5月23日	講義・演習	発声、ソロ歌唱～レクチャー	アドバイス復習・個人選曲の練習
5	5月30日	講義・演習	発声、ソロ歌唱～レクチャー	アドバイス復習・個人選曲の練習
6	6月6日	講義・演習	発声、ソロ歌唱～レクチャー	アドバイス復習・個人選曲の練習
7	6月13日	講義・演習	発声、ソロ歌唱～レクチャー	アドバイス復習・個人選曲の練習
8	6月20日	講義・演習	発声、ソロ歌唱～レクチャー	アドバイス復習・個人選曲の練習
9	6月27日	講義・演習	発声、ソロ歌唱～レクチャー	アドバイス復習・個人選曲の練習
10	7月4日	講義・演習	発声、ソロ歌唱～レクチャー	アドバイス復習・個人選曲の練習
11	7月11日	講義・演習	発声、ソロ歌唱～レクチャー	アドバイス復習・個人選曲の練習
12	7月18日	講義・演習	発声、ソロ歌唱～レクチャー	アドバイス復習・個人選曲の練習
13	8月22日	講義・演習	歌唱テスト	後期に向けての選曲・歌詞カード準備・作成
14	8月29日	講義・演習	イベント実践を通して表現を学ぶ	レポート作成
15	9月5日	講義・演習	イベント実践を通して表現を学ぶ	レポート作成
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

各自選曲のオケ、歌詞カード（2部プリントアウト）　用意して下さい。

科目名	ヴォーカルテクニック(4)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	潤豊
学科・コース	ダンス＆アクターズ科(昼間部2)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30（2単位）		
教員の略歴	THE SOULMATICSのメンバーとしてイベント等に出演。多方面に活躍中。						
授業の学習内容	発声。各自選曲～歌唱。音程、リズム、メロディーの捉え方、表現の仕方、マイクの使い方、など細かくレクチャー。						
到達目標	歌唱及びステージングのテクニックやアーティストの感性を磨き、自信を持ってライブやレコーディングを行えることを目指す。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月3日	講義・演習	発声、ソロ歌唱～レクチャー	アドバイス復習・個人選曲の練習
2	10月10日	講義・演習	発声、ソロ歌唱～レクチャー	アドバイス復習・個人選曲の練習
3	10月17日	講義・演習	発声、ソロ歌唱～レクチャー	アドバイス復習・個人選曲の練習
4	10月24日	講義・演習	発声、ソロ歌唱～レクチャー	アドバイス復習・個人選曲の練習
5	10月31日	講義・演習	発声、ソロ歌唱～レクチャー	アドバイス復習・個人選曲の練習
6	11月7日	講義・演習	発声、ソロ歌唱～レクチャー	アドバイス復習・個人選曲の練習
7	11月14日	講義・演習	発声、ソロ歌唱～レクチャー	アドバイス復習・個人選曲の練習
8	11月21日	講義・演習	発声、ソロ歌唱～レクチャー	アドバイス復習・個人選曲の練習
9	11月28日	講義・演習	発声、ソロ歌唱～レクチャー	アドバイス復習・個人選曲の練習
10	12月5日	講義・演習	発声、ソロ歌唱～レクチャー	アドバイス復習・個人選曲の練習
11	12月12日	講義・演習	発声、ソロ歌唱～レクチャー	アドバイス復習・個人選曲の練習
12	12月19日	講義・演習	発声、ソロ歌唱～レクチャー	アドバイス復習・個人選曲の練習
13	1月9日	講義・演習	歌唱テスト	1年の振り返り
14	1月16日	講義・演習	イベント実践を通して表現を学ぶ	レポート作成
15	1月30日	講義・演習	イベント実践を通して表現を学ぶ	レポート作成
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

各自選曲のオケ、歌詞カード（2部プリントアウト）　用意して下さい。

科目名	アクション・殺陣(3)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	所博昭
学科・コース	ダンス＆アクターズ科(昼間部2)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30（2単位）		
教員の略歴	2017映画「アウトレイジ 最終章」技斗、「相棒」シリーズ技斗、「刑事七人」シリーズ技斗、2020「刑事七人シーズン6episode1」杉野正役、その他多数						
授業の学習内容	個々が個別の技を覚えて出来るようになってもそれはアクションではありません。全てのアクションは集団行動に依って成り立ちます。複数の出演者が攻撃、被害を繰り返します。更に、それを視聴者や観客に観てもらい、感動を生ませて初めてアクションとなります。また、集団での剣殺陣は小道具である刀を振り回して演技する為危険度が格段に跳ね上がります。更に現実問題として演者を殴ったり、斬る事が出来ないのでバレ易く、リアリティーは失われがちになります。こういった弱点等も踏まえて実践を繰り返す事でアクション、殺陣を安全且つ臨場感溢れる演技が出来るようにします。						
到達目標	出演者と息を合わせ、アクションや剣殺陣と演技を安全に組み合わせる事が出来る様になる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月21日	講義・演習	アクションの流れを理解し実践出来る	アクション映像(アニメ、動画を含む)鑑賞して予習
2	4月28日	講義・演習	押し蹴りが出来る	アクション映像(アニメ、動画を含む)鑑賞して予習、前週の復習
3	5月12日	講義・演習	膝蹴りが出来る	アクション映像(アニメ、動画を含む)鑑賞して予習、前週の復習
4	5月19日	講義・演習	肘打ちが出来る	アクション映像(アニメ、動画を含む)鑑賞して予習、前週の復習□
5	5月26日	講義・演習	髪を掴んで振り回す、振り回される等が出来る	アクション映像(アニメ、動画を含む)鑑賞して予習、前週の復習
6	6月2日	講義・演習	関節技を極める、極められる事が出来る	アクション映像(アニメ、動画を含む)鑑賞して予習、前週の復習
7	6月9日	講義・演習	殺陣の流れを理解し実践し、斬る、斬られる(死ぬ)事が出来る	時代劇映像(アニメ、動画を含む)鑑賞して予習
8	6月16日	講義・演習	山形が出来る	時代劇映像(アニメ、動画を含む)鑑賞して予習、前週の復習□
9	6月23日	講義・演習	鍔迫り合いが出来る	時代劇映像(アニメ、動画を含む)鑑賞して予習、前週の復習
10	6月30日	講義・演習	刀(刃物)を刺す、刺される事が出来る	時代劇映像(アニメ、動画を含む)鑑賞して予習、前週の復習□
11	7月7日	講義・演習	巻打ちが出来る	時代劇映像(アニメ、動画を含む)鑑賞して予習、前週の復習□
12	7月14日	講義・演習	擦り流し3種が出来る	時代劇映像(アニメ、動画を含む)鑑賞して予習、前週の復習
13	8月25日	講義・演習	総合的に実践出来る	時代劇映像(アニメ、動画を含む)鑑賞して予習、前週の復習
14	9月1日	講義・演習	イベント実践を通して表現を学ぶ	レポート作成
15	9月8日	講義・演習	イベント実践を通して表現を学ぶ	レポート作成
準備学習　時間外学習			アクションは現代劇の映像、時代劇の映像を観て役者の動きをイメージトレーニングする	

【使用教科書・教材・参考書】

映画、TVドラマ、舞台、アニメ、動画、漫画等視覚で研究出来る物。

科目名	アクション・殺陣(4)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	所博昭
学科・コース	ダンス＆アクターズ科(昼間部2)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30（2単位）		
教員の略歴	2017映画「アウトレイジ 最終章」技斗、「相棒」シリーズ技斗、「刑事七人」シリーズ技斗、2020「刑事七人シーズン6episode1」杉野正役、その他多数						
授業の学習内容	アクション、殺陣はあくまでも芝居の一部分であり、動作の一つ一つが台詞です。観客や視聴者に伝わらなければ意味を持ちません。自分や共演者、他者の芝居を観て意見を発言する事で反省や新たな発見があります。カメラを使って動画を撮り、考察し反省点等を踏まえて再演してまた考察するを繰り返します。また特別授業としてモデルガンを使い、仕組みや種類、取り扱い方を学ぶガンアクションも体験します。						
到達目標	カメラからの観え方、見せ方を理解し、意図的に自分の演技を見せれるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	カメラと画面の仕組み、アクションの見せ方と弱点を理解する	アクション映像(アニメ、動画を含む)鑑賞して予習、前期の復習
2	10月13日	講義・演習	縦位置での見え方の長所と短所を理解し実践出来る	アクション映像(アニメ、動画を含む)鑑賞して予習、前週の復習
3	10月20日	講義・演習	横位置での見え方の長所と短所を理解し実践出来る	アクション映像(アニメ、動画を含む)鑑賞して予習、前週の復習□
4	10月27日	講義・演習	ローアングルでの見え方の長所と短所を理解し実践出来る	アクション映像(アニメ、動画を含む)鑑賞して予習、前週の復習
5	11月3日	講義・演習	俯瞰での見え方の長所と短所を理解し実践出来る	アクション映像(アニメ、動画を含む)鑑賞して予習、前週の復習
6	11月17日	講義・演習	カメラを使った剣殺陣の見せ方と弱点を理解する	時代劇映像(アニメ、動画を含む)鑑賞して予習、前週の復習
7	11月24日	講義・演習	縦位置での見え方の長所と短所を理解し実践出来る	時代劇映像(アニメ、動画を含む)鑑賞して予習、前週の復習□
8	12月1日	講義・演習	横位置での見え方の長所と短所を理解し実践出来る	時代劇映像(アニメ、動画を含む)鑑賞して予習、前週の復習
9	12月8日	講義・演習	俯瞰での見え方の長所と短所を理解し実践出来る	時代劇映像(アニメ、動画を含む)鑑賞して予習、前週の復習
10	12月15日	講義・演習	技毎に長所を活かしたポジションに移動する事が出来る	時代劇映像(アニメ、動画を含む)鑑賞して予習、前週の復習
11	1月12日	講義・演習	拳銃の仕組みや種類を理解する	ガンアクション映像(アニメ、動画を含む)鑑賞して予習
12	1月19日	講義・演習	拳銃の扱い方を学び実践する事が出来る。	ガンアクション映像(アニメ、動画を含む)鑑賞して予習、前週の復習
13	2月2日	講義・演習	拳銃を使った芝居の実演する事が出来る。2年間の総括	ガンアクション映像(アニメ、動画を含む)鑑賞して予習、前週の復習
14	2月9日	講義・演習	イベント実践を通して表現を学ぶ	レポート作成
15	2月16日	講義・演習	イベント実践を通して表現を学ぶ	レポート作成
準備学習　時間外学習			アクションは現代劇の映像、時代劇の映像、ガンアクションの映像を観て役者の動きを予習する。	

【使用教科書・教材・参考書】

映画、TVドラマ、舞台、アニメ、動画、漫画等視覚で研究出来る物。

科目名	外画プロジェクト(3)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	北村幸子
		授業形態	講義・演習	総時間（単位）	60（4単位）		
学科・コース	ダンス＆アクターズ科(昼間部2)						

教員の略歴	外画吹替え70作品。【ノーザンレスキュー、たった一人の私の味方】
授業の学習内容	声優の仕事に必要なアフレコ、マイク前での表現を学ぶ。主に外画に特化したスキル（息遣いのアドリブ、会話の表現など）をアフレコを繰り返しながら身につけていく。前期は外画とは何か？ということを学び、基礎（発声、活舌等）を再確認しアフレコを行う。
到達目標	外画とは何か？ということを理解していく。それと同時にアフレコに不可欠な基礎（発声　活舌等）を再確認し、マイクの前でそれらを活かしながら吹替えの表現を学んでいく。映像に合わせること以上に演技の中での会話を意識して表現出来るようになる。
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月19日	講義・演習	外画、吹き替えとは何か？を理解する	レポート（授業後自身で纏めておく）
2	5月10日	講義・演習	作品への理解を深める。(ストーリー)	レポート（授業前に自身で纏めておく）
3	5月17日	講義・演習	シーンごとの理解を深める。	レポート（自身で纏めておく）
4	5月24日	講義・演習	登場人物の性格、関係性を理解する	レポート（関係性等台本に書き込む）
5	5月31日	講義・演習	登場人物の個々のキャラクターの理解を深める	レポート（登場人物の性格等を纏める）
6	6月7日	講義・演習	「タイムコード」の取り方を理解する。	レポート（タイムコードの取り方を纏める）
7	6月14日	講義・演習	映像チェックのポイントを知り実践する	レポート（自身で纏める）
8	6月21日	講義・演習	キャラクターの表情、動き等の細かなチェックを実践する。	レポート（自身で纏める）
9	6月28日	講義・演習	役を演じる、表現とは？をマイク前で実践する	レポート（自身で纏める）
10	7月5日	講義・演習	自分の声、キャラクターを知る	発声、活舌等基礎は自身で練習を重ねる
11	7月12日	講義・演習	自分のキャラクターを知り録音を繰り返す	自分の得意なキャラクターを考えておく
12	7月19日	講義・演習	役の表情に合わせられるように実践する	レポート（自身で纏める）
13	8月23日	講義・演習	アフレコを行い試験に臨む	自身の出来た点難しかった点自己分析をする
14	8月30日	講義・演習	イベント実践を通して表現を学ぶ	レポート作成
15	9月6日	講義・演習	イベント実践を通して表現を学ぶ	レポート作成
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

台本のコピー

科目名	外画プロジェクト(4)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	北村幸子
学科・コース	ダンス＆アクターズ科(昼間部2)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	60（4単位）		
教員の略歴	外画吹替え出演70作品。【ノーザンレスキュー、たった一人の私の味方】						
授業の学習内容	前期で学んだマイク前での表現を実践しながら吹き替えのアフレコを行う。後期は外画での息遣いのアドリブや相手との会話、キャラクターへの理解をさらに深めていきながらアフレコを繰り返していく。						
到達目標	作品への理解、シーンの理解、キャラクターの理解、相手との会話をより意識して表現することなど、一人ではなく全員で作品を作り上げることへの理解が深められるようになる。さらに外画での息遣いのアドリブやマイク前での自由度を高めて、自身の表現について考え、それを瞬時に実践出来るようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月4日	講義・演習	自身の目標を改めて明確にし授業に臨む	事前に自身で纏めておく
2	10月11日	講義・演習	前期の復習をしながらアフレコする	前期に学んだことを復習しておく
3	10月18日	講義・演習	自分に合うキャラクターを知る	自身で得意なキャラクターを考えて臨む
4	10月25日	講義・演習	シーンの流れを掴み表現出来る	議論　（アフレコ前に考えて話し合う）
5	11月1日	講義・演習	登場人物の気持ちの流れを掴み表現出来る	議論　（アフレコ前に考えて話し合う）
6	11月8日	講義・演習	役の感情の流れを踏まえ台詞をあてていく	議論（授業時に会話を意識できたか話し合う）
7	11月15日	講義・演習	相手との会話を意識しアフレコする	議論　（授業時に達成できたか話し合う）
8	11月22日	講義・演習	相手の台詞を聞き芝居が受け取れるようになる	議論　（授業時に達成できたか話し合う）
9	11月29日	講義・演習	台詞の口のパクに正確に合わせる事が出来る	議論　（授業時に達成できたか話し合う）
10	12月6日	講義・演習	登場人物の台詞や、息遣いを理解する	レポート（自身で良かった点、反省点纏める）
11	12月13日	講義・演習	息遣い等アドリブを細かくチェックし実践出来るようになる。	レポート（自身で良かった点、反省点纏める）
12	12月20日	講義・演習	作品全体の流れを掴みアフレコで表現出来るようになる。	レポート（自身で良かった点、反省点纏める）
13	1月10日	講義・演習	学んだことを活かしアフレコで表現できる	レポート（自身で良かった点、反省点纏める）
14	1月17日	講義・演習	イベント実践を通して表現を学ぶ	レポート作成
15	1月31日	講義・演習	イベント実践を通して表現を学ぶ	レポート作成
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

台本のコピー

科目名	朗読・アクティング(3)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	大友恵理
学科・コース	ダンス＆アクターズ科(昼間部2)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30 (2単位)		
教員の略歴	92年劇団都市彦に入団。以降1998年の解散までの全作品に出演。その後舞台、CM,映画、司会など多数出演。□						
授業の学習内容	オリジナルテキストを使用 読解力を強化し、言葉で伝える技術の基礎を身につける						
到達目標	物語を正しく理解することができる わかりやすい伝え方ができる						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月19日	講義・演習	リラックスして声を出す	今日の振り返り
2	5月10日	講義・演習	大きな声で話す	今日の振り返り
3	5月17日	講義・演習	言葉のキャッチボール	今日の振り返り
4	5月24日	講義・演習	言葉と感情のつながり	今日の振り返り
5	5月31日	講義・演習	物語の設定や状況を理解する	今日の振り返り
6	6月7日	講義・演習	登場人物のキャラクターを考える	今日の振り返り
7	6月14日	講義・演習	聞き取りやすいスピード感	今日の振り返り
8	6月21日	講義・演習	区切りと間の取り方、作り方	今日の振り返り
9	6月28日	講義・演習	感情の伝わり方	今日の振り返り
10	7月5日	講義・演習	群読	今日の振り返り
11	7月12日	講義・演習	共有し息を合わせる	今日の振り返り
12	7月19日	講義・演習	想像力をふくらませる	今日の振り返り
13	8月23日	講義・演習	妄想をふくらませる	今日の振り返り
14	8月30日	講義・演習	イベント実践を通して表現を学ぶ	レポート作成
15	9月6日	講義・演習	イベント実践を通して表現を学ぶ	レポート作成
準備学習　時間外学習			復習すること。視点を変えて考えてみること	

【使用教科書・教材・参考書】

筆記用具必須

科目名	朗読・アクティング(4)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	大友恵理
学科・コース	ダンス＆アクターズ科(昼間部2)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30（2単位）		
教員の略歴	92年劇団都市彦に入団。以降1998年の解散までの全作品に出演。その後舞台、CM,映画、司会など多数出演。						
授業の学習内容	オリジナルのテキストを使用。細かく読み解きながら 表現力を高め、観客の想像力をよりふくらませることができるようにする						
到達目標	間、緩急、抑揚などのテクニックを使うことができる 言葉で状況や質感（状態）などを伝えることができる						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月4日	講義・演習	同音異義語を正しく伝える	今日の振り返り
2	10月11日	講義・演習	状況や状態を意識して読む	今日の振り返り
3	10月18日	講義・演習	色や温度、質感を意識して読む	今日の振り返り
4	10月25日	講義・演習	関係性から生まれるもの	今日の振り返り
5	11月1日	講義・演習	行間、物語の前後を想像する	今日の振り返り
6	11月8日	講義・演習	読み方の組み立て方	今日の振り返り
7	11月15日	講義・演習	動きながらの群読	今日の振り返り
8	11月22日	講義・演習	１人～２人での朗読	今日の振り返り
9	11月29日	講義・演習	２人～３人での朗読	今日の振り返り
10	12月6日	講義・演習	３人～４人での朗読	今日の振り返り
11	12月13日	講義・演習	真っ白な心で読む	今日の振り返り
12	12月20日	講義・演習	伝えたいこと、伝わったことの確認	今日の振り返り
13	1月10日	講義・演習	周りの全てを確認して意識して朗読	一年間の振り返り
14	1月17日	講義・演習	イベント実践を通して表現を学ぶ	レポート作成
15	1月31日	講義・演習	イベント実践を通して表現を学ぶ	レポート作成
準備学習　時間外学習			復習すること。視点を変えてアプローチを方法を変えてみること	

【使用教科書・教材・参考書】

筆記用具必須

科目名	ドラマアクティング(3)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	竹田光一
学科・コース	ダンス＆アクターズ科(昼間部2)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	60（4単位）		
教員の略歴	映画、ドラマ、舞台、CFに多数出演。日本演出者協会会員。剣舞 菊秀流 師範。□						
授業の学習内容	特に映像演技と舞台演技の表現の違いを理解させ、カメラに対しての表現方法の大切さ。 アクティングプランとアクションの誤差を少しでも無くし、自分のイメージ通り、 また監督からの要求される演技をすぐに自己修正し、表現できるようにする。 映画・ドラマで、要求される最低限の現場で困らないための表現を躰で得とくする。 カメラなど、裏方も経験することにより、表現の幅を広げ、感性を育てる。						
到達目標	基本的には1年と同様ですが、一つ一つの質を上げる。 1年生の時に学んだ事を生かし、より質の良い表現を身につける。 1テイクでOKが出るように集中力を高める グループとのコミュニケーション能力を高める ※卒業後、即戦力になるように人格、プロの俳優としての意識・演技・礼節を身につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月21日	講義・演習	オーディション(AD)対策。15分で自分で演技プランの組み立て演じる。（自己PR＆演技を撮影）	自己PRを考えておく
2	4月28日	講義・演習	前回の映像チェック	カメラテスト。次回の台本、配布
3	5月12日	講義・演習	①「一人芝居台本」リハーサル	今回の反省を次回に生かす
4	5月19日	講義・演習	②「一人芝居台本」撮影	各人でそれぞれFBを自分の物にする
5	5月26日	講義・演習	③「一人芝居台本」映像チェック	「ショートムービー」プランを考えてくる
6	6月2日	講義・演習	①「ショートムービー」制作の話し合い	話し合いの結果を踏まえ次回発表
7	6月9日	講義・演習	②「ショートムービー」原案・プレゼン。 作品、役割決定。	今回の話し合いでの課題を次回進展
8	6月16日	講義・演習	③「ショートムービー」台本・絵コンテ作成	今回の話し合いでの課題を次回進展
9	6月23日	講義・演習	④「ショートムービー」台本・絵コンテ作成	今回の話し合いでの課題を次回進展
10	6月30日	講義・演習	⑤「ショートムービー」台本・絵コンテ作成	今回の話し合いでの課題を次回進展
11	7月7日	講義・演習	⑥「ショートムービー」台本・絵コンテ、キャスト・スタッフ、香盤表、決定	今回の話し合いでの課題を次回進展
12	7月14日	講義・演習	「ショートムービー」リハーサルA班	※レポート提出
13	8月25日	講義・演習	「ショートムービー」リハーサルB班	※「夏休みの「4コマ動画」 告知
14	9月1日	講義・演習	イベント実践を通して表現を学ぶ	レポート作成
15	9月8日	講義・演習	イベント実践を通して表現を学ぶ	レポート作成
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

ipad、撮影に合わせての服装

科目名	ドラマアクティング(4)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	竹田光一
学科・コース	ダンス＆アクターズ科(昼間部2)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	60（4単位）		
教員の略歴	映画、ドラマ、舞台、CFに多数出演。日本演出者協会会員。剣舞 菊秀流 師範。□						
授業の学習内容	特に映像演技と舞台演技の表現の違いを理解させ、カメラに対しての表現方法の大切さ。 アクティングプランとアクションの誤差を少しでも無くし、自分のイメージ通り、 また監督からの要求される演技をすぐに自己修正し、表現できるようにする。 映画・ドラマで、要求される最低限の現場で困らないための表現を躰で得とくする。 カメラなど、裏方も経験することにより、表現の幅を広げ、感性を育てる。						
到達目標	基本的には1年と同様ですが、一つ一つの質を上げる。 1年生の時に学んだ事を生かし、より質の良い表現を身につける。 1テイクでOKが出るように集中力を高める グループとのコミュニケーション能力を高める ※卒業後、即戦力になるように人格、プロの俳優としての意識・演技・礼節を身につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月5日	講義・演習	※「夏休みの「4コマ動画作品」 上映会	次週のの確認
2	10月12日	講義・演習	⑧「ショートムービー」撮影日	チラシ・パンフ制作確認
3	10月19日	講義・演習	⑨「ショートムービー」撮影日	次週の確認
4	10月26日	講義・演習	⑨「ショートムービー」撮影日	次週の確認
5	11月2日	講義・演習	⑩「ショートムービー」撮影日	次週の確認
6	11月16日	講義・演習	⑪「ショートムービー」撮影日	次週の確認
7	11月23日	講義・演習	⑫「ショートムービー」撮影日	次週の確認
8	11月30日	講義・演習	⑬「ショートムービー」撮影日予備日	次週の確認
9	12月7日	講義・演習	⑭「ショートムービー」編集	次週の確認
10	12月14日	講義・演習	⑮「ショートムービー」編集	次週の確認
11	12月21日	講義・演習	⑯「ショートムービー」予備日	※レポート提出
12	1月11日	講義・演習	⑯「ショートムービー」上映会リハーサル	※レポート提出
13	1月18日	講義・演習	⑰「ショートムービー」上映会	選ばれた作品のみ上映します
14	2月1日	講義・演習	イベント実践を通して表現を学ぶ	レポート作成
15	2月8日	講義・演習	イベント実践を通して表現を学ぶ	レポート作成
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

ipad、撮影に合わせての服装

科目名	Actor's ライブゼミ(3)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	清水賢治
学科・コース	ダンス＆アクターズ科(昼間部2)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30 (2単位)		
教員の略歴	ライブサポートやレコーディング（L'Arc～en～Ciel「DUNE」 / アニメタルレディー「アニメタル・レディー・マラソン」 / 44MAGNUM「44MAGNUM」など）で、キーボーディストとして活動。						
授業の学習内容	前期, 後期に各1回 行われる、Actor' s ライブを発表の場（実技テスト）とし、ライブにおける歌唱、パフォーマンスを実践する。校内（LS-1 または、LS-2）でのライブを行う。						
到達目標	Actor' s ライブという実践の場に向けて、 企画制作、音響、照明、ミュージシャンの学生とも連携を取り、準備を行い、 コミュニケーション・スキルの向上を目指すと共に、ライブ・イベントを作り上げる過程を学ぶ。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月20日	講義・演習	年間を通しての授業説明　前期 Actor' s ライブに向け、各自の役割、ライブのテーマを決め、選曲などを行う。	前期 Actor' s ライブというイベントを企画する上で、対象とする観客に楽しんでもらえるよう、内容を工夫する。
2	4月27日	講義・演習	観客に楽しんでもらえる内容であるか？ 歌いたいから…だけではなく、エンターテインメント性の高いものを目指す。	動画サイトや映像作品において、ライブにおける歌唱やパフォーマンスを表現者としての視点から、日々 研究する。
3	5月11日	講義・演習	台本、資料音源、歌詞、譜面など、後に企画制作や音響、照明コースの学生への共有が必要となるデータを理解する。	オーディオ編集ソフト、テキスト編集ソフトなどについて、積極的に自己学習する。
4	5月18日	講義・演習	各楽曲に対して、誰が歌うのか、メイン・パート、コーラス・パートをどうするか、など決定する。	日頃から、歌唱レパートリーを増やし、これまで歌ったことのない楽曲も、積極的に個人練習を行う。
5	5月25日	講義・演習	各楽曲に対して、イベント全体を通しての流れを考慮し、演目の曲順を決定する。	ライブ・イベントを共通の目標とし、クラスメイトへの敬意、感謝、配慮をもって、チームワークを高める。
6	6月1日	講義・演習	早い時点で、歌詞の暗記に取り組み、より質の高いパフォーマンスを行う。	歌唱表現に説得力を持たせる為、歌詞の内容や作品中のキャラクターの心情を理解し、歌唱箇所の歌詞を暗記する。
7	6月8日	講義・演習	前期 Actor' s LIVE 向けての各楽曲のリハーサルを行う。楽曲に適した衣装を早い時点でイメージし、準備を行う。	それぞれの楽曲に対して、動画サイトのライブや、カバー・バージョンなどを参考に、自分はどう表現するか計画する。
8	6月15日	講義・演習	前期 Actor' s LIVE に向けてのブロック通しリハーサルを行う。	リハーサルにおいて、客観的に振り返り・向上ができるよう、録音や録画し、チェックすることを習慣化する。
9	6月22日	講義・演習	前期 Actor' s LIVE 向けての各楽曲のリハーサルを行う。楽曲に適した衣装を早い時点でイメージし、準備を行う。	音響・照明・制作など、関係各部署と連絡を取り、ひとつのイベント成功に向け、自らが行動できることを実践する。
10	6月29日	講義・演習	前期 Actor' s LIVE 本番に向けての通し稽古①。本番同様の衣装を着用し、エンターテインメント性を向上させる。	スタッフ学生からの指示や要望を受け止め、彼らともチームであることを認識し、互いへの敬意をもって、取り組む。
11	7月6日	講義・演習	前期 Actor' s LIVE 本番に向けての通し稽古②。本番同様の衣装を着用し、意識の上でも本番を想定し取り組む。	ライブの形式が、有観客・無観客 いずれの場合でも、観て聴いてくださる方々へ届けるイメージを明確に意識する。
12	7月13日	講義・演習	前期 Actor' s LIVE 本番日　サウンドチェック、ゲネリハからライブ本番、撤収に至る過程を実践する。	ライブ本番に向け、自らのパフォーマンスが最良の状態になるよう、コンディションを整える。
13	8月24日	講義・演習	前期ライブ 反省会　映像鑑賞とレポート記入。後期ライブに向け、役割、ライブのテーマ決め、選曲などを行う。	後期 Actor' s ライブ・イベントを企画する上で、対象とする観客に楽しんでもらえるよう、内容を工夫する。
14	8月31日	講義・演習	イベント実践を通して表現を学ぶ	レポート作成
15	9月7日	講義・演習	イベント実践を通して表現を学ぶ	レポート作成
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

筆記用具、録音や録画の為のスマホやタブレット端末など。

科目名	Actor's ライブゼミ(4)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	清水賢治
学科・コース	ダンス＆アクターズ科(昼間部2)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30 (2単位)		
教員の略歴	ライブサポートやレコーディング（L'Arc～en～Ciel「DUNE」 / アニメタルレディー「アニメタル・レディー・マラソン」 / 44MAGNUM「44MAGNUM」など）で、キーボーディストとして活動。						
授業の学習内容	前期, 後期に各1回 行われる、Actor' s ライブを発表の場（実技テスト）とし、ライブにおける歌唱、パフォーマンスを実践する。校内（LS-1 または、LS-2）でのライブを行う。						
到達目標	Actor' s ライブという実践の場に向けて、 企画制作、音響、照明、ミュージシャンの学生とも連携を取り、準備を行い、コミュニケーション・スキルの向上を目指すと共に、ライブ・イベントを作り上げる過程を学ぶ。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月5日	講義・演習	後期 Actor' s ライブに向け、各自の役割、ライブのテーマを決め、選曲などを行う。	後期 Actor' s ライブというイベントを企画する上で、対象とする観客に楽しんでもらえるよう、内容を工夫する。
2	10月12日	講義・演習	観客に楽しんでもらえる内容であるか？ 歌いたいから…だけではなく、エンターテインメント性の高いものを目指す。	動画サイトや映像作品において、ライブにおける歌唱やパフォーマンスを表現者としての視点から、日々 研究する。
3	10月19日	講義・演習	台本、資料音源、歌詞、譜面など、後に企画制作や音響、照明コースの学生への共有が必要となるデータを理解する。	オーディオ編集ソフト、テキスト編集ソフトなどについて、積極的に自己学習する。
4	10月26日	講義・演習	各楽曲に対して、誰が歌うのか、メイン・パート、コーラス・パートをどうするか、など決定する。	日頃から、歌唱レパートリーを増やし、これまで歌ったことのない楽曲も、積極的に個人練習を行う。
5	11月2日	講義・演習	各楽曲に対して、イベント全体を通しての流れを考慮し、演目の曲順を決定する。	ライブ・イベントを共通の目標とし、クラスメイトへの敬意、感謝、配慮をもって、チームワークを高める。
6	11月16日	講義・演習	早い時点で、歌詞の暗記に取り組み、より質の高いパフォーマンスを行う。	歌唱表現に説得力を持たせる為、歌詞の内容や作品中のキャラクターの心情を理解し、歌唱箇所の歌詞を暗記する。
7	11月23日	講義・演習	後期 Actor' s LIVE 向けての各楽曲のリハーサルを行う。楽曲に適した衣装を早い時点でイメージし、準備を行う。	それぞれの楽曲に対して、動画サイトのライブや、カバー・バージョンなどを参考に、自分はどう表現するか計画する。
8	11月30日	講義・演習	後期 Actor' s LIVE に向けてのブロック通しリハーサルを行う。	リハーサルにおいて、客観的に振り返り・向上ができるよう、録音や録画し、チェックすることを習慣化する。
9	12月7日	講義・演習	後期 Actor' s LIVE 向けての各楽曲のリハーサルを行う。楽曲に適した衣装を早い時点でイメージし、準備を行う。	音響・照明・制作など、関係各部署と連絡を取り、ひとつのイベント成功に向け、自らが行動できることを実践する。
10	12月14日	講義・演習	後期 Actor' s LIVE 本番に向けての通し稽古①。本番同様の衣装を着用し、エンターテインメント性を向上させる。	スタッフ学生からの指示や要望を受け止め、彼らともチームであることを認識し、互いへの敬意をもって、取り組む。
11	12月21日	講義・演習	後期 Actor' s LIVE 本番に向けての通し稽古②。本番同様の衣装を着用し、意識の上でも本番を想定し取り組む。	ライブの形式が、有観客・無観客 いずれの場合でも、観て聴いてくださる方々へ届けるイメージを明確に意識する。
12	1月11日	講義・演習	後期 Actor' s LIVE 本番日　サウンドチェック、ゲネリハからライブ本番、撤収に至る過程を実践する。	ライブ本番に向け、自らのパフォーマンスが最良の状態になるよう、コンディションを整える。
13	1月18日	講義・演習	後期 Actor' s LIVE 反省会　ライブの映像鑑賞とレポート記入。	この授業で学んできたことを振り返り、今後の各分野での活動の糧とする。
14	2月1日	講義・演習	イベント実践を通して表現を学ぶ	レポート作成
15	2月8日	講義・演習	イベント実践を通して表現を学ぶ	レポート作成
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

筆記用具、録音や録画の為のスマホやタブレット端末など。

科目名	演劇ゼミ(3)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	山口晃
学科・コース	ダンス＆アクターズ科(昼間部2)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	90（6単位）		
教員の略歴	劇団青年座所属、俳優歴44年、講師歴20年						
授業の学習内容	演劇業界で必要とされる人を目指し、自分のキャラクターの発見をする。 すべての授業の集大成としての演劇公演をすることで、周りの人との協調性、人間力を養い、演技の向上ができるようになる。						
到達目標	自分のキャラクターを発見。イメージした声、動きにより演技ができる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月21日	講義・演習	日本語の文法を学び、そのテキストの表現ができる。	二年次の目標（レポート）
2	4月28日	講義・演習	物・動物の演技によりイメージトレーニングができる。	イメージトレーニングの予習、復習をする。
3	5月12日	講義・演習	台本を配布し説明。それぞれ理解できる。	本読みの予習をする。
4	5月19日	講義・演習	本読みをし、組み立てテーマを知ることができる。	希望する役を決める。
5	5月26日	講義・演習	オーディションに望むことができる。	反省、本読み。
6	6月2日	講義・演習	決定したキャストで本読みができる。	本読みの復習。
7	6月9日	講義・演習	本読みにより、自分の役を理解できる。	セリフを覚える（予習）
8	6月16日	講義・演習	立ち稽古、全体のミザンス。自分の動きをすることができる。	ミザンスの確認（復習）
9	6月23日	講義・演習	立ち稽古により自分のキャラクターを発見できる。	演技の練習
10	6月30日	講義・演習	衣装、小道具ありの稽古により、向上できる。	演技の練習
11	7月7日	講義・演習	スタッフ共に稽古、全体をすることができる。	相手のセリフを覚える。
12	7月14日	講義・演習	本番通りの稽古。観客を意識した演技ができる。	演技の練習
13	8月25日	講義・演習	反省会、後期の課題を見つけることができる。	反省文（レポート）
14	9月1日	講義・演習	イベント実践を通して表現を学ぶ	レポート作成
15	9月8日	講義・演習	イベント実践を通して表現を学ぶ	レポート作成
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

動きやすい格好。ダンススニーカー、タオル、水など

科目名	演劇ゼミ(4)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	山口晃
学科・コース	ダンス＆アクターズ科(昼間部2)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	90（6単位）		
教員の略歴	劇団青年座所属、俳優歴44年、講師歴20年						
授業の学習内容	演劇業界で必要とされる人を目指し、自分のキャラクターの発見をする。 すべての授業の集大成としての演劇公演をすることで、周りの人との協調性、人間力を養い、演技の向上ができるようになる。						
到達目標	自分のキャラクターを発見。イメージした声、動きにより演技ができる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	シアターゲームにより即興性を養うことができる。	ここまでの自分のキャラクターをレポートする。
2	10月13日	講義・演習	様々なゲームにより演劇的な即興性を養うことができる。	即興劇を考える（復習）
3	10月20日	講義・演習	公演台本配布、説明。それを理解できる。	台本本読みの予習する。
4	10月27日	講義・演習	本読みしながら、少し動きを即興でできる。	本読み
5	11月3日	講義・演習	本読みしながら、キャストを決定。自分の役ができる。	本読み（自分の役）
6	11月17日	講義・演習	シーンの意味を理解できる。	本読み
7	11月24日	講義・演習	全体のキャスト決定。自分の役の演技ができる。	全体の流れをつかむ。（復習）
8	12月1日	講義・演習	立ち稽古で、自分の役割を知ることができる。	演技の練習。
9	12月8日	講義・演習	様々な役のキャラクターを決め演じることができる。	相手役を覚える。
10	12月15日	講義・演習	衣装、小道具ありの稽古で向上できる。	演技の練習。
11	1月12日	講義・演習	スタッフ入りで全体を知ることができる。	全体のミザンスの確認
12	1月19日	講義・演習	本番通りの稽古観客を意識した演技ができる。	演技の練習。
13	2月2日	講義・演習	反省により卒業後の課題を見つけることができる。	反省文（レポート）
14	2月9日	講義・演習	イベント実践を通して表現を学ぶ	レポート作成
15	2月16日	講義・演習	イベント実践を通して表現を学ぶ	レポート作成
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

動きやすい格好。ダンススニーカー、タオル、水など